

郡山市ふれあい科学館年報

— 令和5年度版 —



宇宙劇場リニューアルイベント
「記念講演会」渡部潤一名誉館長



「全国一斉プラネタリウム100周年記念イベント」



スペースパーク企画展「くらべる図鑑展」



スペースパーク企画展「色と光のふしぎ発見!」



「雪氷楽会in郡山」



公開講演会「APRIM2023パブリックレクチャー」

郡山市ふれあい科学館指定管理者

公益財団法人郡山市文化・学び振興公社

目 次

はじめに	(2) 天文最新情報調査	72
Ⅰ 施設のあらまし	(3) 展示協議会等調査	72
1 設置目的	(4) 展示最新情報調査	72
2 運営方針	10 その他	
3 施設概要	(1) 運営協力	73
4 組織概要	(2) ボランティア活動の推進	74
5 歴代館長	Ⅲ 令和5年度広報・営業活動	
6 沿革	1 広報PR活動	
Ⅱ 令和5年度事業活動実績	(1) 広報戦略活動	80
1 宇宙劇場運営	(2) 広報紙の配布	81
(1) プラネタリウム番組投映	2 営業活動	81
(2) 宇宙劇場コンサート	Ⅳ 令和6年度事業活動計画	
(3) 宇宙劇場リニューアル記念事業	1 宇宙劇場運営	82
2 展示ゾーン運営	2 展示ゾーン運営	87
(1) 体験型展示物の運転	3 展望ロビー利活用事業	89
(2) 常設展示物の活用	4 展示ゾーン利活用事業	90
(3) 科学普及事業	5 展望ロビーイベント装飾事業	94
3 展望ロビー利活用事業	6 教育普及活動	94
(1) パブリックビューイング	7 講演会事業	97
(2) 展望ロビーパネル展	8 他団体連携事業	97
(3) Nゲージ鉄道ジオラマ	9 宇宙や科学に関する情報発信事業	98
(4) 展望ロビーイルミネーション	10 パブリシティ活動事業	99
4 展示ゾーン利活用事業	11 作品募集	99
(1) 企画展	12 調査・研究	100
(2) パソコン工房の活用	13 その他	100
(3) 学校長期休業期間中の特別事業	Ⅴ 令和6年度広報・営業活動	
(4) 団体利用向け科学教室	1 広報PR活動	
(5) 小中学生・高校生のための科学技術へのいざない	(1) 広報戦略活動	102
5 教育普及活動	(2) 広報紙の配布	102
(1) 学校向け巡回展	2 営業活動	102
(2) 講師派遣	Ⅵ 予算・決算	
(3) 職場体験としての機会提供	1 令和5年度決算	103
(4) クラブ活動	2 令和6年度予算	104
(5) 講座・講演会	Ⅶ 施設利用状況	
(6) 観望会	1 月別入館者数	105
(7) 学習支援	2 施設別入館者数	106
6 宇宙や科学に関する情報発信事業	3 宇宙劇場区分別入館者数	111
(1) 企画パネル展	4 展示ゾーン区分別入館者数	112
(2) 学術発表	5 平成30年度から令和4年度までの入館者数の変遷	114
7 作品募集	6 令和5年度施設利用状況の結果分析	117
8 出版	Ⅷ その他	
(1) 年報の発行	1 条例・規則	119
(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行	2 利用案内	128
9 調査・研究	3 スペースパークボランティアの会会則	129
(1) 天文関連協議会調査		

はじめに

令和5年度は、5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが、季節性インフルエンザと同等(5類感染症)に引き下げられましたが、ウィズコロナ・アフターコロナの時代を見据えた施設運営、事業実施に努めることが出来ました。

主な事業としましては、ゴールデンウィーク特別企画として、テレビでおなじみの「宇宙なんちゃら こてつくん」を展示ゾーンとドーム映像番組で実施しました。10月には、プラネタリウム誕生100周年を祝い、その歴史を振り返りながら、プラネタリウムの魅力を発信するため、秋のドーム映像番組や宇宙劇場バックヤードツアー、10月21日には全国一斉100周年記念イベントを実施しました。

また、第7回「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」を3年ぶりに実施しました。このコンテストは平成20年度にスタートし、福島県の様々な風景の上に広がる、星たちや月の輝きを写真に捉えた作品を募集し、星空の美しさ・福島県の豊かな風景や文化を広く紹介していくことを目的としたものです。県内外から99名、321点の作品の応募がありました。

その他、5年度の主な事業であります。宇宙劇場では夏には「発見!南極に恐竜がいた!」、
「星になるまで music by ACIDMAN」、冬には「キングペンギン-ペンギン親子の子育て日記-」、展示ゾーンでは、夏のスペースパーク企画展「くらべる図鑑展」、冬のスペースパーク企画展「色と光のふしぎ発見!」を開催しました。

さらに、国際天文学連合アジア太平洋地域の天文学に関する国際会議が8月に郡山市で開催され、連携事業として、ノーベル賞を受賞された梶田隆章先生、村山斉先生を講師に迎え APRIM2023 パブリックレクチャーを開催しました。この会議に出席するために来郡した秋篠宮皇嗣妃殿下 紀子様が当館に来館され、短い時間ではありましたが、宇宙劇場にてプラネタリウムをご覧いただきました。

宇宙劇場は、2012年4月に導入した全天ビデオシステムが老朽化したため、1月9日から約2か月をかけてビデオプロジェクター、コンピュータシステム等の改修を実施しました。3月16日に無事リニューアルオープンし、より明るく・あざやかな映像投映が可能になるとともに、より様々な宇宙の姿の投映を行えるようになりました。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で当初入館者数が大きく減少しましたが、令和5年度にはコロナ前の約8割まで回復しました。今後とも、皆様方の温かいご支援とご意見等をいただきながら、「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する」という設置目的を十分に認識し、魅力ある事業の展開に努めて参ります。

より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郡山市ふれあい科学館
館長 佐藤 宏

I 施設のあらまし

1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている 21 世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場に集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

(1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

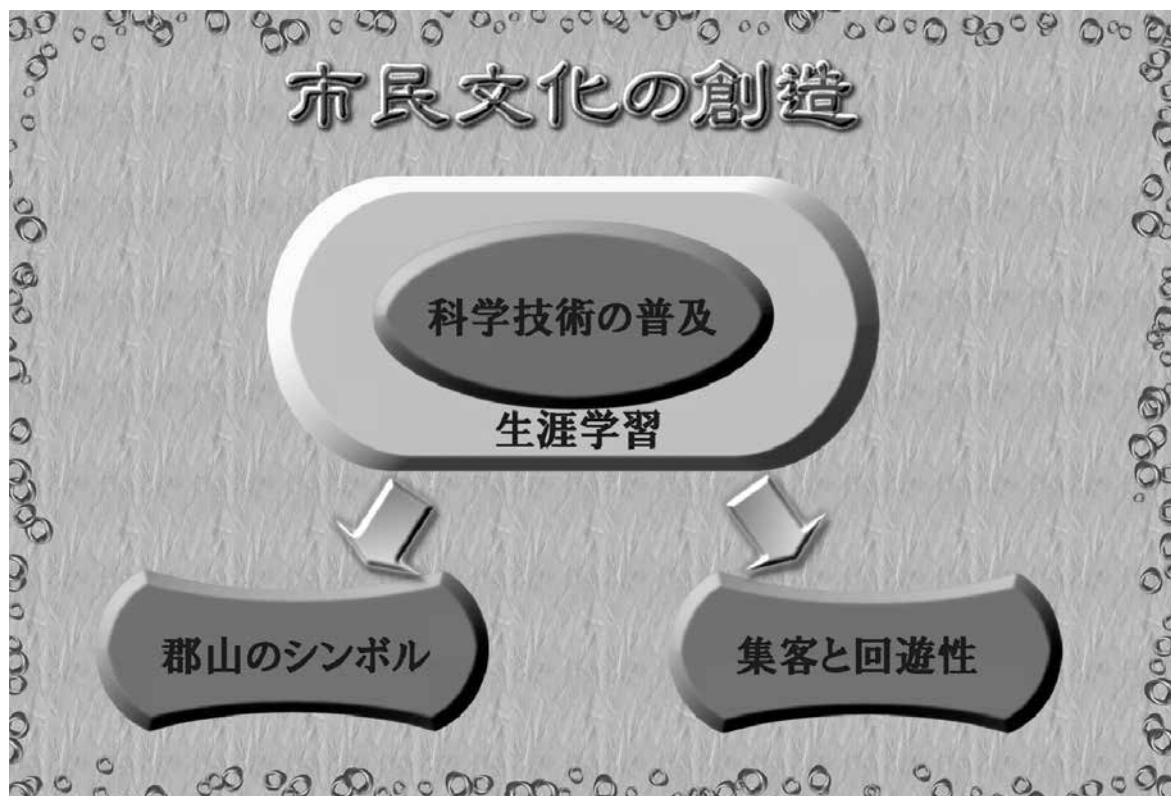
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

(2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

(3) 都心部の回遊性と集客

21 世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



2 運営方針

基本コンセプト

宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

基本テーマ

地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローイング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方向的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演

会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目 11 番 1 号
 (ビッグアイ 20～24 階)
 構造：地下 1 階、地上 24 階、鉄骨造
 ※ビル全体の構造 (地上高 133 m)
 面積：4,337.37㎡ (内専用部分 3,459㎡)

宇宙劇場 - 23・24F -

劇場、ホワイエ

- 規模
直径 23 m (傾斜型)、座席数 238 席
- 機器
スーパーヘリオス、全天ビデオシステムほか
- 展示品
アースタッチング

展望ロビー - 22F -

メインエントランス

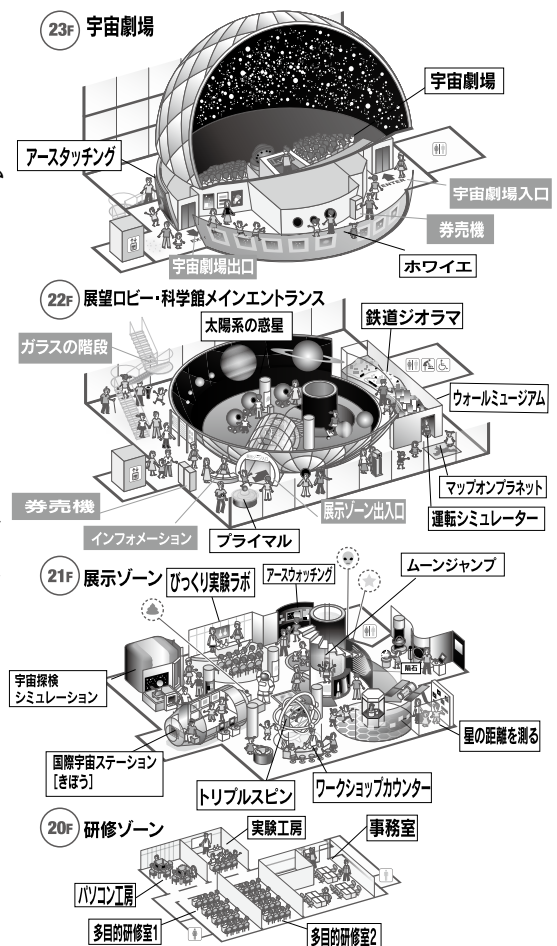
- 展示品
Nゲージ鉄道ジオラマ (運転シミュレーター)、シンボルオブジェ「プライマル」、マップオンプラネット、ドリームアートロケットプロジェクトタペストリーほか

展示ゾーン - 21・22F -

- 展示品
- プロローグ -
プロローグ「惑星」、コペルニクスのお考え

郡山市ふれあい科学館
フロア案内

スペースパークフロアマップ



- た宇宙、ハーシェルの考えた宇宙、ハッブルの考えた宇宙ほか
- スペースフロンティア-
- 国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙服、ムーンジャンプ、トリプルスピンほか
- クエスト・オブ・ザ・ユニバース-
- すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか
- アースウォッチング-
- アースウォッチングほか

研修ゾーン - 20F -

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

総事業費

4,331,480,716 円

-年度別内訳-

H11 : 542,395,000円
 H12 : 2,594,887,000円
 H13 : 1,194,198,716円

-内容別内訳-

建設費 : 2,810,762,998円
 床取得費 : 1,509,000,000円
 事務費 : 11,717,718円

-財源別内訳-

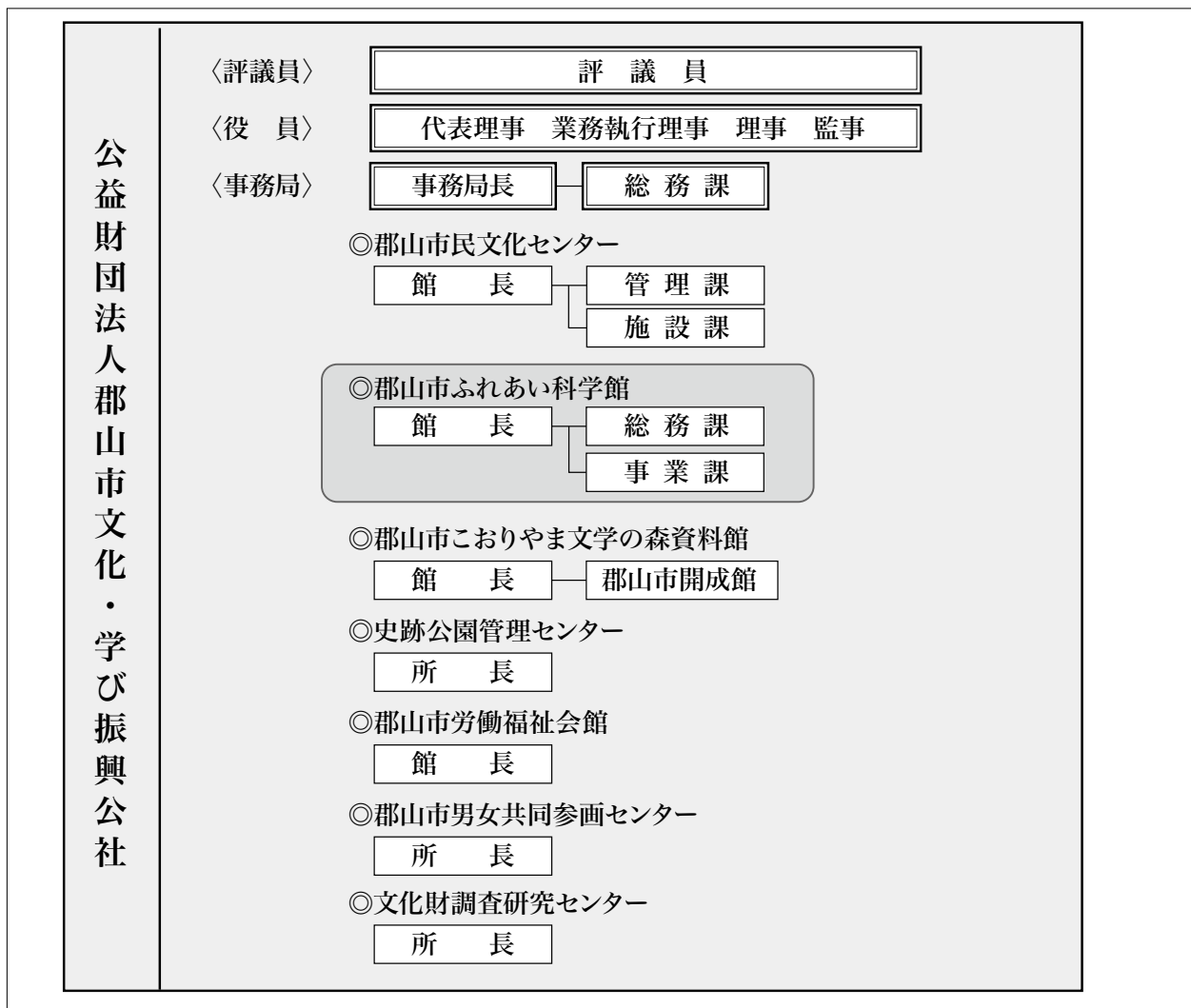
地域総合整備事業債 : 911,300,000円
 基金繰入金（寄附金） : 2,810,762,998円（寄附金総額 : 3,023,812,680円）

* 寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分 : 14,583円
 一般財源 : 609,403,135円

4 組織概要

(1) 組織図<令和5年度>



(2) 職員配置〈令和6年3月31日現在〉

館長（嘱）（1）

副館長（1）

－総務課（7）－

課長（1）、主任（2）、臨時職員（4）

－事業課（24）－

課長（兼）、特任専門員（嘱）（1）、主任（2）、主査（2）、主事（2）、
特定事業専門員（3）、臨時職員（13）

合計 32 人

5 歴代館長

初代館長	永戸法夫	平成13年10月1日～平成14年3月31日
第2代館長	大森高志	平成14年4月1日～平成16年3月31日
第3代館長	箭内政勝	平成16年4月1日～平成19年3月31日
第4代館長	佐藤秀一	平成19年4月1日～平成22年3月31日
第5代館長	遠藤育夫	平成22年4月1日～平成25年3月31日
第6代館長	伊東利幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日
第7代館長	市川正道	平成28年4月1日～平成29年3月31日
第8代館長	佐久間政彦	平成29年4月1日～平成30年3月31日
第9代館長	岡崎強	平成30年4月1日～令和3年3月31日
第10代館長	佐藤宏	令和3年4月1日～

6 沿革

▶平成10年度

<平成10年4月>

○郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→（仮称）ふれあい科学館建設構想発表

※郡山市教育委員会青少年課が所管

<平成10年10月～平成11年1月>

○基本計画策定

▶平成11年度

<平成11年5月～11月>

○基本実施設計策定

<平成12年3月>

○財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

▶平成12年度

<平成12年4月>

○郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

<平成12年9月>

○科学館キャラクター決定（制作者：漫画家 松本零士氏）

<平成12年12月>

○科学館愛称決定（愛称：スペースパーク）※応募総数：2,849点

<平成13年3月>

○郡山市ふれあい科学館条例制定

▶平成13年度

<平成13年4月>

○ビッグアイに科学館準備室移転

<平成13年7月>

○シンボルマーク及びロゴタイプ決定

<平成 13 年 8 月>

○22階展望ロビーをプレオープン

<平成 13 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館

※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱

○郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）

※日本科学未来館館長 毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長 渡部潤一氏ほか出席

<平成 13 年 11 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“第1回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

<平成 13 年 12 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

<平成 14 年 1 月>

○ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

<平成 14 年 2 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）

○有料ゾーン入館者が10万人突破

<平成 14 年 3 月>

○展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破

○ロボット犬アイボ導入

▶平成 14 年度

<平成 14 年 6 月>

○鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

<平成 14 年 7 月>

○開館1周年記念“松本零士講演会”開催

<平成 14 年 8 月>

○展望ロビー入館者が50万人突破

<平成 14 年 10 月>

○常陸宮両殿下御視察

○開館1周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

<平成 14 年 12 月>

○開館1周年記念“サイエンスショー”開催

<平成 15 年 3 月>

○展示ゾーン新展示物設置

H2 ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）

船外活動装置装備宇宙服レプリカ（協力：日本宇宙少年団）

▶平成 15 年度

<平成 15 年 4 月>

○特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジーの世界～”開催

<平成 15 年 6 月>

○宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

<平成 15 年 7 月>

○“松本零士のスペースアニメ展”開催

○“松本零士のふれあいトーク”開催

○スペースパークボランティア活動開始

<平成 16 年 2 月>

○スペースパークボランティアの会設立

<平成 16 年 3 月>

○展望ロビー入館者が100万人突破

▶平成 16 年度

<平成 16 年 5 月>

○リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

<平成 16 年 6 月>

○有料ゾーン入館者が50万人突破

<平成 16 年 9 月>

○高円宮妃殿下御視察

<平成 16 年 10 月>

○“郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館3周年記念
小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催

<平成 16 年 11 月>

○展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）

○天文教育普及研究会・東北支部会開催

<平成 17 年 2 月>

○県内5館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）

○郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館3周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

▶平成 17 年度

<平成 17 年 9 月>

○アインシュタイン特別企画～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

<平成 18 年 3 月>

○展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン

オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催

▶平成18年度

<平成18年9月>

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催
(9・10月)

<平成18年10月>

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念事業“「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙開拓の未来～」”開催

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」”開催

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催

○国際宇宙ステーション (ISS) の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成18年11月>

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催

<平成19年3月>

○“ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」”開催

▶平成19年度

<平成19年7月>

○“夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅編」”投映開始

<平成19年10月>

○「第5回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞

<平成19年12月>

○“スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」”開催

○展望ロビー入館者が200万人突破

<平成20年1月>

○有料ゾーン入館者が100万人突破

▶平成20年度

<平成20年6月>

○“「JAXA太陽ふしぎ展」”開催

○“特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催

<平成20年7月>

○スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」

○“夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」”投映開始

<平成20年12月>

○“全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」”開催

○“冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”投映開始

▶平成21年度

<平成 21 年 4 月>

- 世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

<平成 21 年 7 月>

- “夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」” 投映開始
- “世界天文年2009「部分日食観望会」” 開催

<平成 21 年 11 月>

- “全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」” 開催

<平成 21 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」” 開催
- “冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」” 投映開始
- “世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山” 開催

▶平成 22 年度

<平成 22 年 7 月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」” 投映開始

<平成 22 年 11 月>

- “全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」” 開催

<平成 22 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」 開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」” 投映開始

<平成 23 年 3 月>

- 「東日本大震災」により 3月11日より休館

▶平成 23 年度

<平成 23 年 4 月>

- 「東日本大震災」により 4月28日まで休館、4月29日より開館
- “スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」” 開催

<平成 23 年 7 月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」” 投映開始
- “はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」 開催

<平成 23 年 8 月>

- “「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」” 開催
- 有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成 23 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催
 - ・開館10周年記念セレモニー
 - ・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」
 - ・科学の祭典 in こおりやま
 - ・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

<平成 23 年 12 月>

- “郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえもんの科学みらい展」” 開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」” 投映開始

<平成 24 年 1 月>

- 「宇宙劇場の改修」により 1 月10日より休館

<平成 24 年 2 月>

- 展望ロビー入館者が300万人突破

▶平成 24 年度

<平成 24 年 4 月>

- “宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー” を開催

<平成 24 年 5 月>

- 郡山駅西口駅前広場及びペDESTリアンデッキを会場に、“金環日食観望会” を開催

<平成 24 年 6 月>

- 郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会” を開催

<平成 24 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」” を7月14日から16日、7月21日から8月26日まで投映

<平成 24 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」” を12月1日から1月14日まで開催
- “冬のドーム映像番組「いきものがたり」” を12月1日から2月24日までロングラン投映

<平成 25 年 1 月>

- 全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会” を開催

<平成 25 年 2 月>

- “イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」” を夜間投映
- 独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共催し、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～” を郡山市民文化センター中ホールで開催

▶平成 25 年度

<平成 25 年 5 月>

- “パークス天文台遠隔操作による電波観測実習” を開催

<平成 25 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」” を7月20日から8月25日まで投映

<平成 25 年 11 月>

- “全館企画「アイソンスペシャル！」” を11月9日から12月8日まで開催

- “アイソン彗星観望会” を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

<平成 25 年 12 月>

- “冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」” を12月1日から1月13日まで放映
- “スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ！～” を12月7日から1月13日まで開催

<平成 26 年 1 月>

- “天文教育普及研究会東北支部研究会” を開催

<平成 26 年 3 月>

- “スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会” を開催

▶平成 26 年度

<平成 26 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」特別試写会” を開催
- “夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」” を7月19日から8月24日まで放映

<平成 26 年 9 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ホワイエ企画展「郡山から見上げた星空」写真展” を9月2日から10月31日まで開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 第5回国際科学映像祭 優秀作品上映会” を9月27日・28日に開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」特別試写会” を開催

<平成 26 年 10 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」” を10月4日から26日まで放映
- “皆既月食観望会” を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念「鉄道の日」鉄道フェスティバル” を開催

<平成 26 年 11 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 第26回星の講演会「ファンタジック・オーロラ in 郡山」” を開催
- JAXAによる惑星探査機「はやぶさ2」が平成26年12月に打ち上げられるのに合わせ、はやぶさ2について紹介する企画展“飛び立て！はやぶさ2”を11月26日から1月12日まで展示ゾーンエレベーターホールで開催

<平成 26 年 12 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 スペースパーク企画展「見て聞いて、さわって感じよう！～感覚体感フィールド～」を12月6日から1月12日まで開催

▶平成 27 年度

<平成 27 年 4 月>

- “皆既月食観望会”を「ミューカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- 有料ゾーン入館者が200万人突破

<平成 27 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」”を7月18日から8月24日まで放映

<平成 27 年 9 月>

- 第5回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の放映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ プレイベント」を開催
- 第6回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、国内外からの最新の科学映像の上映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行う「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」を9月23日から26日に開催
- 第6回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて人気投票1位となったクオリティの高い科学映像作品の放映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ アフターイベント」を開催

<平成 27 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 27 年 11 月>

- 名古屋市科学館が主催し、ブラザー工業株式会社の協力のもと全国7カ所の科学館と共催して、国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信を行うイベント「ブラザーアーストーク ～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」を開催

<平成 27 年 12 月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館」を12月5日から1月11日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦!-」”を12月5日から1月11日まで放映

<平成 28 年 3 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦!-」”を3月5日から31日まで放映

▶平成 28 年度

<平成 28 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス -氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦!」”を4月1日から5日まで放映

<平成 28 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」特別試

写会”を開催

- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」”を7月16日から8月24日まで投映

<平成 28 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が400万人突破

<平成 28 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館15周年記念イベント開催

- ・ 開館15周年記念式典
- ・ 記念講演 渡部潤一氏（国立天文台副台長）
- ・ 記念コンサート 辻村結實子氏（シンガーソングライター）
- ・ ハイスクール科学祭
- ・ トリックアート展

- 開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち」”を開催

<平成 28 年 12 月>

- 開館15周年記念スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」を12月3日から1月9日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」”を12月3日から1月9日まで投映

<平成 29 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」、
「Planetarian ～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」を3月4日から31日まで投映

▶平成 29 年度

<平成 29 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」
「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を4月1日から5日まで投映

<平成 29 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」”を7月14日から8月24日まで投映
- スペースパーク企画展「3Dゴーストハウスの科学」を7月15日から8月24日まで開催

<平成 29 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催
- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」”を10月7日から9日までアンコール投映

<平成 29 年 11 月>

- “春のドーム映像番組「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を11月1日から30日までアンコール投映

<平成 29 年 12 月>

- スペースパーク企画展「びっくり!鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」を12月2日から1月8日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～」”を12月2日から1月8日まで投映

<平成 30 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を3月3日から31日まで投映

▶平成 30 年度

<平成 30 年 4 月>

- 第9代館長 岡崎強就任
- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を4月1日から5日まで投映

<平成 30 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」”を7月14日から8月26日まで投映
- スペースパーク企画展「犯人はだれだ! 科学捜査にチャレンジ」を7月14日から8月26日まで開催

<平成 30 年 8 月>

- 有料ゾーン入館者が250万人突破

<平成 30 年 9 月>

- 3D天文シミュレーション「Mitaka 3D」導入
- 科学館専用車に松本零士名誉館長原作の「銀河鉄道999」をデザインしたラッピングカー導入

<平成 30 年 10 月>

- “秋のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」”を10月6日から12月2日まで投映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月6日から8日まで開催
- 「2018全国少年少女発明クラブ創作展」が、10月13日・14日に「ビッグパレットふくしま」を会場に開催され、運営協力している郡山市少年発明クラブからも5作品を出展した。13日には当クラブの活動の様子を公益財団法人発明協会の野間口会長以下役員の方々が視察した。

<平成 30 年 12 月>

- スペースパーク企画展「きかんしゃトーマスとなかまたち」を12月8日から1月

7日まで開催

- “冬のドーム映像番組「ポラリス2 ルシアと流れ星の秘密」”を12月8日から1月7日まで投映

<平成31年3月>

- 春のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」を3月1日から31日までアンコール投映

▶平成31年度・令和元年度

<平成31年4月>

- 春のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」を4月1日から7日までアンコール投映
- スペースパーク企画展「フォトラボ ―映える写真はいいね―」を4月27日から5月6日まで開催

<令和元年7月>

- “夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」”を7月13日から8月25日まで投映
- スペースパーク企画展「恐怖の謎に迫る ―THE ホラーハウス―」を7月13日から8月25日まで開催

<令和元年10月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月12日から14日まで開催

<令和元年12月>

- スペースパーク企画展「昭和レトロ展 ―親子であそぼう！昭和ワールド―」を12月7日から1月7日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を12月7日から1月7日まで投映

<令和2年2月>

- 「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため宇宙劇場が2月26日から休館
- 「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展望ロビーが2月29日から休館

▶令和2年度

<令和2年4月>

- 「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展示ゾーンが4月18日から休館（全館休館）

<令和2年5月>

- 「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため5月18日まで全館休館、5月19日から全館開館

<令和2年7月>

- “ドーム映像番組「新・恐竜大進撃」”を7月18日から9月27日まで投映
- 電車のおもちゃで遊ぼう！、企画パネル展「星の衝突で、何ができた？ 一月の

うさぎと私たちの地球-」を7月18日から8月23日まで開催

<令和2年9月>

- スペースパーク企画展「ようこそ、ふわふわスポーツパークへ！」を9月19日から22日まで開催

<令和2年10月>

- “ドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を10月3日から11月29日までアンコール投映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月10日・11日に開催

<令和2年11月>

- 福島民報社との共同主催事業“はやぶさ2パネル展「小惑星探査の旅」”11月20日から12月6日まで開催

<令和2年12月>

- スペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」を12月5日から1月11日まで開催
- “ドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～」”を12月5日から1月31日まで投映

<令和3年2月>

- 福島県沖地震による安全確認のため、2月14日から17日まで休館

▶令和3年度

<令和3年4月>

- 第10代館長 佐藤宏就任

<令和3年6月>

- 松本零士先生、郡山市ふれあい科学館名誉館長退任

<令和3年7月>

- “夏休みドーム映像番組「アニマルハンター ～どうぶつたちのオモシロ行動学～」”を7月17日から8月22日まで投映
- スペースパーク企画展「ふしぎ発見！ピラミッドサイエンス」を7月17日から8月22日まで開催

<令和3年8月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の適用のため8月23日から全館休館

<令和3年9月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」が解除され9月24日から全館開館

<令和3年10月>

- 郡山市ふれあい科学館開館20周年記念イベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となり、開館20周年記念オンライン企画を10月2日から公式YouTubeチャンネルにて配信
・郡山市長あいさつ・20年のあゆみ

- ・20周年記念スペシャル版 スペパ工作
 - ・スペースパーク宇宙劇場の舞台裏
 - ・ロボットゆうえんちによるロボットショー
 - ・鉄道ジオラマショー
 - ・はやぶさ2を支えた福島の技術！
- “開館20周年記念ドーム映像番組「銀河鉄道999 星空はタイムマシーン」”を10月2日から11月28日まで投映
 - “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

<令和3年11月>

- 開館20周年記念 宇宙劇場トークイベント「宇宙への夢を描く」メカデザイナー板橋克己さんをゲストに迎え開催
- 開館20周年記念特別企画「メーテルと記念撮影！」を開催

<令和3年12月>

- スペースパーク企画展「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ！」を12月4日から1月10日まで開催
- “ドーム映像番組「星のまもり鳥～まんてんぼし村とはい色のきり～」、「ヒーリングアース」”を12月4日から1月10日まで投映

<令和4年1月>

- 展望ロビー入館者が500万人突破
- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の適用のため1月27日から全館休館

<令和4年3月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」が解除され3月7日から展望ロビー、8日から宇宙劇場、展示ゾーンが開館
- 福島県沖地震による安全確認のため、3月17日休館

▶令和4年度

<令和4年4月>

- “全国プラネタリウム大会開催記念 宇宙劇場特別事業「プラネタリウムフェスティバル『ドーム映像まつり』」”を4月29日から5月5日まで投映

<令和4年6月>

- “全国プラネタリウム大会（「全国プラネタリウム大会2022・郡山」）”を6月6日から8日まで開催
- “全国プラネタリウム大会開催記念 宇宙劇場特別事業「プラネタリウムフェスティバル『星兄の爆笑！ プラネタリウムショー』」”を開催

<令和4年7月>

- “夏休みドーム映像番組「ハナビリウム 花火って、なんであるの？」、「HAYABUSA2～REBORN」”を7月2日・3日・9日・10日・16日から8月

24日まで投映

- スペースパーク企画展「あそぶどうぶつずかん」を7月16日から8月15日まで開催
- “「はやぶさ2」帰還カプセル展示イベント 記念講演会「もうひとつの“はやぶさ” ミッション」HAYABUSA2～REBORN制作監督 上坂浩光さんを講師に迎え開催

<令和4年8月>

- “「はやぶさ2」帰還カプセル展示イベント「はやぶさ2」帰還カプセル等特別展示 in郡山、ドーム映像番組「HAYABUSA2～REBORN」の追加投映を8月19日から23日まで開催
- “「はやぶさ2」帰還カプセル展示イベント 記念講演会「はやぶさ/はやぶさ2と福島/会津大学」会津大学教授の出村裕英さんを講師に迎え開催

<令和4年10月>

- 渡部潤一国立天文台上席教授が10月7日名誉館長に就任
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月8日から10日まで開催
- “宇宙劇場特別イベント「宇宙への夢を語ろう！」”渡部潤一名誉館長、宇宙タレント黒田有彩さんをゲストに迎え開催

<令和4年11月>

- 皆既月食観望会を開催、国立天文台でライブ配信が行われ、渡部潤一名誉館長が出演、展望ロビーでパブリックビューイングを開催

<令和4年12月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館 ～立体の華麗な変身～」を12月3日から1月9日まで開催
- “ドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」”を12月3日から1月9日まで投映

<令和5年1月>

- “全国プラネタリウム大会開催記念 宇宙劇場特別事業「プラネタリウムフェスティバル プラネタリウム キッズアワー特別版『爆笑天文教室 ブラック星博士のスペースパーク征服計画』、プラネタリウム100周年記念 特別講演会『時・暦・プラネタリウム』」を開催

<令和5年2月>

- 松本零士先生がご逝去され、先生が2001年10月から2021年6月まで名誉館長として当館で活動された様子を約30点の写真で紹介する特別展示「松本零士先生と郡山市ふれあい科学館 写真で振り返る足跡」を展望ロビーを会場に2月25日から3月31日まで開催

<令和5年3月>

- “星のソムリエシンポジウム関連企画 特別講演会「“ほんと”の夜空がある福島」渡部潤一名誉館長を講師に迎え開催
- 第15回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウムを3月5日・6日開催

- “春のドーム映像番組「星になったチロ」、「ハナビリウム 花火って、なんであるの？」”を3月24日から31日まで投映

▶令和5年度

<令和5年4月>

- “春のドーム映像番組「星になったチロ」、「ハナビリウム 花火って、なんであるの？」”を4月1日から5日まで投映

<令和5年5月>

- JAXA若田光一宇宙飛行士の国際宇宙ステーション長期滞在ミッション報告会のライブ配信が行われ、展望ロビーでパブリックビューイングを開催

<令和5年7月>

- “プラネタリウム100周年記念事業「星兄の爆笑！ プラネタリウムショー」”を開催
- “夏休みドーム映像番組「発見！南極に恐竜がいた！」、「星になるまで music by ACIDMAN」”を7月15日から8月24日まで投映
- “スペースパーク企画展「くらべる図鑑展」”を7月15日から8月24日まで開催

<令和5年8月>

- 秋篠宮皇嗣妃殿下御視察
- “<連携事業>「APRIM2023 パブリックレクチャー」”を東京大学卓越教授 梶田隆章さん、東京大学特別教授 村山斉さんを講師に迎え8月12日に開催

<令和5年9月>

- “プラネタリウム100周年記念イベント 秋のドーム映像番組「銀河鉄道999 星空はタイムマシン」”を9月30日から10月15日まで投映

<令和5年10月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月7日～9日開催
- “プラネタリウム100周年記念イベント” 「宇宙劇場バックヤードツアー」(10月7日・8日)、「全国一斉 プラネタリウム 100周年記念イベント」(10月21日)、秋のドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」・「虹の天象儀」(10月21日～11月26日投映)、「歴史解説パネル展」を開催
- 郡山市の「ネーミングライツ」事業について、郡山市ふれあい科学館を含む市施設のネーミングライツ・スポンサー募集が行われ、当館の優先交渉権者に高柳電設工業株式会社が選定され、新たな愛称“高柳電設工業スペースパーク”の使用開始予定が令和6年4月1日になることが決定となる。

<令和5年11月>

- “プラネタリウム100周年記念イベント” 「宇宙劇場バックヤードツアー」(11月4日・5日)

<令和5年12月>

- ラジオ福島と連携し、「ラジオ福島開局70周年」を記念した番組の公開生放送を宇宙劇場で開催
- スペースパーク企画展「色と光のふしぎ発見！」を12月2日から1月8日まで開催

○ “ドーム映像番組「キングペンギン - ペンギン親子の子育て日記 -」” を12月2日から1月8日まで投映

○ 有料ゾーン入館者が300万人突破

<令和6年1月>

○ 「宇宙劇場の改修」により1月9日より休館

<令和6年3月>

○ “宇宙劇場リニューアルオープンセレモニー” を3月16日に開催

○ “リニューアル記念ドーム映像番組「まだ見ぬ宇宙へ」” を3月16日から31日まで投映

Ⅱ 令和5年度事業活動実績

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

<宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約45分間

曜日/回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目	第7回目
平日	10時15分	11時30分	14時	15時30分	19時 (※1)		
土曜・日曜・ 祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時		
夏休み期間等 (※2)	10時30分	11時40分	13時	14時20分	15時40分	17時	18時20分 (※3)

※1 金曜日のみ投映

※2 4/1～5、4/29～5/7、夏休み期間、9/30～1/8の土曜・日曜・祝日・冬休み期間

※3 7/15～8/20の土曜・日曜・祝日のみ

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2ヶ月ごとに更新して投映した。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目、夏休み期間の第4・6回目、4/1～5、4/29～5/7、9/30～1/8の土曜・日曜・祝日・冬休み期間、3/16～31の第2・5回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
星空の世界旅行	令和5年4月1日(土)～30日(日)	62回	1,131人
太陽の素顔	令和5年5月2日(火)～6月30日(金)	110回	2,660人
銀河系ツアー	令和5年7月1日(土)～8月31日(木)	108回	4,163人
プラネタリウム誕生100年	令和5年9月1日(金)～10月31日(火)	94回	1,931人
宇宙開発 新時代!	令和5年11月1日(水) ～令和6年1月8日(月・祝)	124回	1,979人
新!宇宙大紀行	令和6年3月16日(土)～31日(日)	29回	1,242人



星空の世界旅行



太陽の素顔



銀河系ツアー



プラネタリウム誕生 100年



宇宙開発 新時代!



新!宇宙大紀行

番組タイトル	投映日時	投映回数	観覧者数
星兄の爆笑! プラネタリウムショー	令和5年7月15日(土) 14時20分~15時5分、17時~17時45分	2回	239人

観覧者総数 13,345人

キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説を加えた家族向けのプラネタリウム番組を投映した。

投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、夏休み期間の第2回目、4/1~5、4/29~5/7、9/30~1/8の土曜・日曜・祝日・冬休み期間、3/16~31の第3回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
おたんじょうびのせいざ	令和5年4月1日(土)~5月28日(日)	37回	1,364人
たなばたものがたり	令和5年6月3日(土)~7月31日(月)	38回	1,948人
宇宙ミステリーツアー 2023	令和5年8月1日(火)~9月30日(土)	46回	2,920人
ながればしをみよう!	令和5年10月1日(日)~11月26日(日)	19回	803人

星のこどもたち	令和5年12月3日(日) ～令和6年1月8日(月・祝)	19回	1,009人
宇宙を楽しもう!	令和6年3月17日(日)～31日(日)	11回	791人

観覧者総数 8,835人



おたんじょうびのせいざ



たなばたものがたり



宇宙ミステリーツアー 2023



ながれぼしをみよう!



星のこどもたち



宇宙を楽しもう!

学習番組 ※番組の選択は申込順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル (対象)	投映期間	投映回数	観覧者数
星座を見つけよう (小学校低学年以上)	通 年	22回	1,144人
日なたと日かげ (小学校中学年以上)		5回	557人
月と星の動き (小学校中学年以上)		24回	1,936人
月と太陽 (小学校高学年以上)		2回	76人
地球と宇宙 (中学生向け)		1回	12人
宇宙のお話 (中学生以上)		2回	80人

観覧者総数 3,805人

幼児番組 ※幼児週間に集中して放映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により放映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映した。

放映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
なないろどうわとほしめぐり	令和5年4月～5月	2回	26人
なつのおほしさま	令和5年6月～7月	19回	1,612人
かぐやひめのおはなし	令和5年8月～11月	15回	808人
せかいのほしぞら	令和5年12月～令和6年3月 ※1月9日～3月16日を除く	5回	126人

観覧者総数 2,572人

ドーム映像番組

全天周映像(ドーム映像)に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を、学校長期休業期間中を中心に放映した。

<春のドーム映像番組「星になったチロ」>

「ハナビリウム 花火って、なんであるの?」>

放映期間：令和5年4月1日～5日の第1・4回目

<宇宙少年団連携イベント

ゴールデンウィーク特別企画「スペースパーク」★「宇宙なんちゃら こてつくん」

ドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」>

放映期間：令和5年4月29日～5月7日の第1・4回目

<夏休みドーム映像番組「発見！南極に恐竜がいた！」>

放映期間：令和5年7月15日～8月24日の第1・3・5回目

<夏休みドーム映像番組「星になるまで music by ACIDMAN」>

放映期間：令和5年7月15日～8月20日の土曜・日曜・祝日の第7回目

<秋のドーム映像番組「銀河鉄道999 星空はタイムマシーン」>

放映期間：令和5年9月30日～10月15日の土曜・日曜・祝日の第1・4回目

<秋のドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」「虹の天象儀」>

放映期間：令和5年10月21日～11月26日の土曜・日曜・祝日の第1・4回目

<冬のドーム映像番組「キングペンギンーペンギン親子の子育て日記ー」>

投映期間：令和5年12月2日～令和6年1月8日の土曜・日曜・祝日・冬休み期間（12月23日～令和6年1月8日）の第1・4回目

<リニューアル記念ドーム映像番組「まだ見ぬ宇宙へ」>

投映期間：令和6年3月16日～31日の土曜・日曜・祝日・春休み期間（3月23日～31日）の第2・4・6回目、令和6年3月19・21・22日の第2・4回目、令和6年3月22・29日の第7回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
星になったチロ	令和5年4月1日(土)～5日(水)	5回	210人
ハナビリウム 花火って、なんであるの？	令和5年4月1日(土)～5日(水)	5回	252人
宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム	令和5年4月29日(土・祝)～5月7日(日)	16回	1,981人
発見！南極に恐竜がいた！	令和5年7月15日(土)～8月24日(木)	116回	8,209人
星になるまで music by ACIDMAN	令和5年7月15日(土)～8月20日(日)	14回	566人
銀河鉄道999 星空はタイムマシーン	令和5年9月30日(土)～10月15日(日)	14回	610人
宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム	令和5年10月21日(土)～11月26日(日)	14回	607人
虹の天象儀	令和5年10月21日(土)～11月26日(日)	13回	395人
キングペンギン ーペンギン親子の子育て日記ー	令和5年12月2日(土)～ 令和6年1月8日(月・祝)	39回	2,185人
まだ見ぬ宇宙へ	令和6年3月16日(土)～31日(日)	43回	2,104人

観覧者総数 17,119人



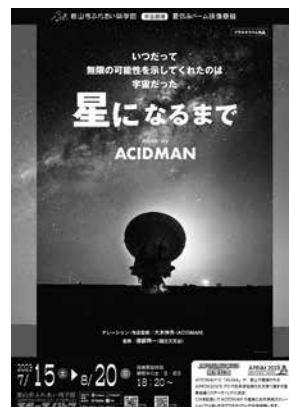
星になったチロ
ハナビリウム
花火って、なんであるの？



宇宙なんちゃら こてつくん
プラネタリウム



発見！
南極に恐竜がいた！



星になるまで
music by ACIDMAN



銀河鉄道 999
星空はタイムマシーン



宇宙なんちゃら こてつくん
プラネタリウム



虹の天象儀



キングペンギン
—ペンギン親子の
子育て日記—



まだ見ぬ宇宙へ

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を放映した。(字幕作成協力：要約筆記こおりやま)

☆開催日時 令和5年12月17日(日) 15時40分～16時25分

☆内容 一般番組「宇宙開発 新時代！」

☆観覧者数 43人

ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供した。

番組タイトル	放映日時	観覧者数
ほしぞらどうぶつえん	令和5年4月20日(木) 10時25分～11時	75人
みなみのしまのほしぞら	令和5年5月25日(木) 10時25分～11時	58人
ながればしをさがそう	令和5年8月25日(金) 10時25分～11時	94人
たのしいうちゅうりょこう	令和5年10月19日(木) 10時25分～11時	90人
クリスマスのほしぞら	令和5年12月20日(水)・21日(木) 10時25分～11時	179人

観覧者総数 496人

いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供した。

番組タイトル	放映日時	観覧者数
今夜の星空と流星の世界	令和5年5月18日(木) 10時15分～11時	17人
今夜の星空と地上の星空 —プラネタリウム 100周年—	令和5年8月31日(木) 10時15分～11時	22人
今夜の星空と天界 2024	令和5年11月16日(木) 10時15分～11時	18人

観覧者総数 57人

イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するなど、夜間の利用が増加すると見込まれる時季に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組放映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を放映した。

番組タイトル	放映日時	放映回数	観覧者数
2つの HAYABUSA 物語	令和5年6月10日(土) 18時30分～19時30分	1回	51人
月の魅力	令和5年9月24日(日) 18時30分～19時30分	1回	56人
熟睡プラネタリウム	令和5年11月23日(木・祝) 18時30分～19時30分	1回	69人
クリスマスの夜の星	令和5年12月23日(土)～25日(月) 18時30分～19時30分	3回	176人

観覧者総数 352人

英語版プラネタリウム

外国人に配慮した市民誰もが気軽に利用できる施設づくりと、インバウンドに対応した利用拡大を目的として、英語による解説を行うプラネタリウム投映を行った。

☆開催日時 令和5年12月16日(土) 18時30分～19時30分

☆内 容 日本語から英語への逐次通訳での今夜の星空解説と、英語ナレーションによるフルドーム映像作品「The Sun, Our Living Star」の投映。

☆観覧者数 18人

ミニプラネタリウム投映

宇宙劇場休館中にエアドームを用いた小型のプラネタリウムを展示ゾーン内に設置し、今夜の星空を紹介した。

☆開催期間 令和6年1月13日(土)～2月25日(日)の土・日・祝日
※2月17日(土)を除く

☆会 場 多目的研修室

☆観覧者数 889人



ミニプラネタリウムの様子

(2) 宇宙劇場コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映した。

投映時間：平日(祝日・学校長期休業期間等を除く。)の第4回目

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第5回目(夏休み期間を除く。)

毎週金曜日の第6回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
洋楽ヒット曲特集 80's - Part.1 -	令和5年4月1日(土)～5月31日(水)	60回	780人

名渡山 遼特集 -ウクレレの世界-	令和5年6月1日(木)～8月31日(木)	56回	723人
アニメソング特集	令和5年9月1日(金)～10月31日(火)	60回	1,038人
洋楽ヒット曲特集 80's - Part.2 -	令和5年11月1日(水) ～令和6年1月8日(月・祝)	67回	927人

観覧者総数 3,468人

プラネタリウムコンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。

<名渡山遼 プラネタリウムコンサート>

☆開催日 令和5年7月2日(日)

☆開催時間 ①11時～12時 ②13時30分～14時30分

☆出演者 名渡山 遼

☆参加者数 340人

< mic-alone Planetarium LIVE ～星になれたら～>

☆開催日 令和5年10月29日(日)

☆開催時間 ①15時～16時 ②17時～18時

☆出演者 mic-alone

☆参加者数 407人



名渡山遼プラネタリウムコンサートの様子



mic-alone Planetarium LIVEの様子

(3) 宇宙劇場リニューアル記念事業

報道向け内覧会

宇宙劇場リニューアルの内容紹介および場内撮影を行う報道向けの内覧会を実施した。

☆開催日時 令和6年3月13日(水) 13時30分～15時

☆開催場所 宇宙劇場

宇宙劇場リニューアル記念セレモニー

☆開催日時 令和6年3月16日(土) 10時30分～12時20分

☆開催場所 宇宙劇場

☆講師 渡部 潤一 氏（国立天文台上席教授・名誉館長）

☆参加者数 184 人

☆内 容 リニューアルした宇宙劇場の紹介および渡部潤一名誉館長による記念講演「太陽系の小さな役者たち - 小天体の魅力に迫る -」。



宇宙劇場リニューアル記念セレモニーの様子

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ

地球の約6分の1に相当する月面の重力環境を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30分ごとに10人程度

トリプルスピン

宇宙飛行士がかつて行っていた訓練メニューの一部を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30分ごとに7人程度

宇宙探検シミュレーション

宇宙船の搭乗を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 休止

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 1回8人

(2) 常設展示物の活用

展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借用物の展示を行い、有効活用を図る。

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応した。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作し、配布した。

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

- ☆開催日 随時
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対象 展示ゾーン入館者

<ロボット展示>

- ☆開催場所 展示ゾーン トリプルスピン前

<わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

- ☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び学校長期休業期間等に開催）
- ☆開催場所 ワークショップカウンター
- ☆対象 展示ゾーン入館者

開催期間	メニュー	内 容
令和5年4月	ぶつとびロケット	スーパーボールの反発力でストローロケットを飛ばすペーパークラフトを製作した。
令和5年5・6月	かざぐるま	風を受けるとくるくる回る風車を製作した。
令和5年7・8月	UV ちょうちよ	紫外線で色が変わるアクセサリを製作した。
令和5年9・10月	バランスとんぼ	羽根などの重さでバランスよく1点で支えられるトンボを製作した。
令和5年11月・12月	コケコッココップ	タコ糸を引くことでニワトリの鳴き声のような音を出せるコップを製作した。
令和5年12月9日～24日	クリスマスカード	期間限定のクリスマスカードを製作した。
令和6年1月・2月	くるりん絵合わせパズル (干支バージョン：とら→たつ)	干支のイラストを使ったパズルを製作した。
令和6年3月	分光万華鏡	分光を利用した万華鏡を製作した。

資料の収集保管

日本の宇宙開発についての理解に有益な資料について、今年度下表のとおり資料を収集した。

資料名	寄贈・借用元
超小型変形型月面ロボット 「SORA-Q (ソラキュー)」 (Flagship Model)	購入

資料の展示

展示ゾーンにて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
クエスト オブ ザ ユニバース	石質隕石	産地：モロッコ（サハラ砂漠）
	石鉄隕石	産地：チリ（アタカマ砂漠）
	鉄隕石	産地：アルゼンチン チャコ
	パラボラアンテナ	国立天文台野辺山宇宙電波観測所（寄贈）
	鹿島 34m アンテナの鏡面パネル	国立研究開発法人情報通信研究機構（寄贈）
スペースフロンティア	宇宙服（レプリカ）	
	宇宙服（レプリカ）	
	さわれる宇宙服（レプリカ）	日本宇宙少年団（借用）
	H-IIA ロケット フェアリング	JAXA（借用）
	H-IIA ロケット（1/40 模型）	JAXA（寄贈）
	H-IIB ロケット（1/25 模型）	日本宇宙少年団（借用）
	はやぶさ2衝突装置レプリカ（1/5スケール）	日本工機株式会社（寄贈）
	はやぶさ2衝突装置の衝突体レプリカ（実物大）	東成イービー東北株式会社（寄贈）
	小惑星リュウグウサンプルレプリカ（実物大）	JAXA宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクト、JAXA宇宙科学研究所と夢を創る会、銀河連邦サガミハラ共和国（相模原市）（提供）
	小惑星リュウグウサンプルレプリカ（10倍サイズ）	
その他	金子式ジュピター型プラネタリウム投影機	郡山市児童文化会館 昭和45年～昭和55年使用

展望ロビーにおいて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
スペースフロンティア	ドリームアートロケットプロジェクト タペストリー	日本宇宙少年団（借用）

(3) 科学普及事業

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施した。

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。約2ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。（約20分間）

☆開催時間 平日 10時30分～、13時～
土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～、16時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和5年 4月	ピタッと磁石で大実験	49回	347人	磁石にくっつくものとくっつかないものをクイズ形式で行った。また、磁界観察器を使って磁力線を見せる実験や、ガウス加速器を使って鉄球を飛ばす実験などを行った。
令和5年 5・6月	野菜を使って実験しよう!	77回	854人	浮く野菜と沈む野菜の違いを紹介した。また、野菜の酵素とオキシドールを反応させて酸素を作る実験などを行った。
令和5年 7～9月	あっ!と驚く圧力の科学	164回	2,006人	マッシュマロの周りの空気を抜いて気圧を低下させ、マッシュマロ内部の空気圧によりマッシュマロを膨らませる実験などを行った。
令和5年 10・11月	ビリリッ!電気の科学実験	82回	657人	電気が流れるものと流れないものをテスターを使って調べた。また、シャープペンシルの芯に電気を流して光らせるエジソン電球などの実験を行った。
令和5年12月～ 令和6年2月	プルプル科学	113回	1,167人	スライムを作り、ゲルの特徴を説明した。力を加えたり振動を与えることで、性質が変わる物質を紹介した。
令和6年 3月	魔法の粉で大実験	62回	665人	透明な液体に粉を入れて混ぜると液体の色が変化する様子を見た。洗剤を混ぜた過酸化水素水に触媒としてヨウ化カリウムを加えると多量の泡が発生する実験などを行った。
令和5年5月 (ゴールデンウィーク) 令和5年7・8月 (夏休み)	びっくり!超低温の世界	43回	955人	液体窒素の中に濡れた紙やボールなどを入れて凍らせたり、液体窒素が気体になるとどのぐらい体積が増えるかなどの実験を行った。

参加者数 6,651人



野菜を使って実験しよう!の様子



魔法の粉で大実験の様子

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、約2ヶ月

ごとにメニューを替えて開催した。(約 20 分間)

☆開催時間 ① 11 時 30 分～、② 14 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和5年 4・5月	伸びたり縮んだり! ゴムのひみつ	99 回	458 人	ゴムをテーマに、ゴムの持つさまざまな役立つ性質を確かめる実験を行った。また、ゴム動力を使った工作を行った。
令和5年 6・7月	さまざまなプラス チック	105 回	935 人	プラスチックをテーマに、その種類や分別方法について実験を行った。また、発泡スチロールを使ったネームプレート作りを行った。
令和5年 8～10月	暑さに負けるな! 太陽のひみつ	164 回	1,540 人	「太陽」をテーマに、太陽光を調べたり、どのようなもので太陽ができているのかを実験した。また、夕日が赤いしくみや夏と冬がある理由についても実験した。最後は、日時計にもなるうちわ作りを行った。
令和5年 11・12月	いろいろな洗剤で 実験しよう!	100 回	823 人	洗剤をテーマに、どのように汚れを落としているのか、どんな種類の洗剤があるのかなど、洗剤を使って実験した。また、洗剤を使ったシャボン液作りを行った。
令和6年 1・2月	氷のふしぎ	88 回	685 人	氷の温度はどのくらいなのか? 氷に塩を加えるとどうなるかなどを調べる実験を行った。また、簡易的な釣竿を作り、氷釣りの実験に挑戦した。
令和6年 3月	カタチの科学～ どんな科学がか くされているのか な?～	56 回	516 人	カタチをテーマに、もののカタチに隠された「ふしぎ」について実験を行った。また、タングラムの工作を行った。
令和5年 4・5月(ゴ ールデンウ ィーク)	わくわく実験教室 「空気のない世 界」	5回	76 人	真空をテーマに、身近な材料を使って、ビンの中の気圧を減圧できる装置を作り、風船を膨らませる実験などを行った。
令和5年 7月(夏休 み)	自由研究ミニ教 室「酸・アルカリ を調べよう」	3回	72 人	「酸・アルカリ」をテーマに、自由研究の取り組み方について研究例を交えながら紹介した。

参加者数 5,105 人



伸びたり縮んだり!ゴムのひみつの様子



暑さに負けるな!太陽のひみつの様子



いろいろな洗剤で実験しよう!の様子

3D 天文シミュレーション

展示ゾーンへの入館者を対象に、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を開催した。

☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

☆定員 30人程度

参加者数 1,997人



3D 天文シミュレーションの様子

3 展望ロビー利活用事業

(1) パブリックビューイング

パブリックビューイング「若田宇宙飛行士ミッション報告会」

令和5年5月27日に開催された若田宇宙飛行士ミッション報告会がJAXAによりライブ配信されたため、当館でもこのライブ配信のパブリックビューイングを開催した。

☆開催日時 令和5年5月27日（土）14時～16時15分

☆協力 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

☆参加者数 19人



パブリックビューイング「若田宇宙飛行士ミッション報告会」の様子

パブリックビューイング「APRIM2023 パブリックレクチャー」

郡山市で開催されたAPRIM2023（アジア太平洋地域の天文学に関する国際会議）の一般向けの公開講演会を宇宙劇場で開催した。その講演会が満席となったことから当館展望ロビーでも、この講演会のパブリックビューイングを開催した。

☆開催日時 令和5年8月12日（土）13時～15時30分

☆協力 大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台

☆参加者数 18人



パブリックビューイング「APRIM2023パブリックレクチャー」の様子

パブリックビューイング「古川聡宇宙飛行士の打上げ」

国際宇宙ステーション長期滞在クルー古川宇宙飛行士搭乗のクルードラゴン宇宙船（Crew-7）が当初令和5年8月25日に打上げられる予定であった。当館でもその様子のライブ配信のパブリックビューイングを開催する予定だったが、打上げ延期により、パブリックビューイングは中止した。

☆開催日時 令和5年8月25日（金）16時～

☆協力 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

(2) 展望ロビーパネル展

「宇宙なんちゃら こてつくん」ミニ企画展

日本宇宙少年団との連携により、「宇宙なんちゃら こてつくん」の世界を紹介するパネル展を開催した。

☆開催期間 令和5年4月1日(土)～5月7日(日)



「宇宙なんちゃらこてつくん」
ミニ企画展の様子

プラネタリウム 100 周年記念 歴史解説パネル展

プラネタリウム誕生 100 年を記念して、プラネタリウムの歴史を紹介するパネル展を開催した。

☆開催期間 令和5年10月7日(土)～11月26日(日)

プラネタリウム 100 周年記念 歴史解説パネル展②

プラネタリウム誕生 100 年を記念して、プラネタリウムの歴史を紹介するパネル展の続編を開催した。

☆開催期間 令和6年1月11日(木)～2月29日(木)



「プラネタリウム 100 周年記念
歴史解説パネル展②」の様子

(3) Nゲージ鉄道ジオラマ

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の①11時～、②15時～(約20分間)

☆見学者数 5,058人



鉄道ジオラマショーの様子

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時（ショー開催時間以外）

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

☆料 金 200円（約5分間）

☆運転者数 3,633人

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(4) 展望ロビーイルミネーション

地上高96mの幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置した。

ハロウィンディスプレイ Halloween Night in SPACEPARK 2023

☆開催日時 令和5年10月7日（土）～10月31日（火） 日没～20時



ハロウィンディスプレイの様子

クリスマスイルミネーション Christmas Dreams in SPACEPARK 2023

☆開催日時 令和5年12月1日(金)～25日(月) 日没～20時



クリスマスイルミネーションの様子

ウインターイルミネーション

☆開催日時 令和5年12月26日(火)～令和6年1月10日(水) 日没～20時



ウインターイルミネーションの様子

4 展示ゾーン利活用事業

(1) 企画展

スペースパーク企画展「くらべる図鑑展」

小学館の『くらべる図鑑』のページが大きなタペストリーやスクリーンになった展示や、動物とかけっこ競争する体験型展示などを通して、様々なものの大きさや高さ、スピード、言語の違いなどをくらべて学べる企画展を開催した。

☆開催日時 令和5年7月15日(土)～8月24日(木) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 16,091人

☆展示内容 大きさをくらべる、高さをくらべる、「走る」をくらべる、太陽系惑星の公転の速さをくらべる、動物のあしあとをくらべる、街中の恐竜を見つけようなど



「走る」をくらべるの様子



AR展示で恐竜探しを楽しむ来館者の様子

<ミュージアムガイドツアー「くらべる図鑑」のみどころ>

☆講師 廣野 篤 氏 (小学館 第三児童学習局 図鑑編集長)

☆開催日時 令和5年7月17日(月・祝) 13時～13時30分、14時～14時30分

☆開催場所 展示ゾーン 実験工房(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 40人

☆内容 『くらべる図鑑』の編集長自らが企画展会場を案内し、図鑑づくりのエピソードと魅力についても語っていただいた。



ミュージアムガイドツアーの様子

スペースパーク企画展「色と光のふしぎ発見！」

自分が塗り絵をした絵がスクリーン上を動き回ったり、人の体の動きに合わせて、美術映像が様々な仕掛けで愉快地動いたり、目の錯覚を利用した美術作品を展示するなど五感で楽しめる体験型企画展を開催した。

- ☆開催日時 令和5年12月2日(土)～令和6年1月8日(月・祝)10時～17時
- ☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 8,388人
- ☆展示内容 おえかき×デジタルアート、VRおえかき、ひかりのふしぎ!、色違い判断テスト、いろんな錯視



VRおえかき



ひかりのふしぎ!

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会、元鉄道ボランティアなどの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。

- ☆開催日時 令和5年10月7日(土)～9日(月・祝)
- ☆開催場所 展望ロビー、多目的研修室
- ☆対象 一般来館者、展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 1,171人
- ☆内容 (1) 鉄道ジオラマショースペシャル

土・日・祝に1日2回行っているジオラマショーを、期間中は1日3回に増便して行った。

(2) Nゲージ鉄道車両操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。

(3) 鉄道関連資料展示

鉄道ファンのご協力により、貴重な鉄道関連資料を展示した。

(4) プラレールコーナー

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。

(5) 手回しトロッコ「てトロ」体験

手回しの動力で動くトロッコ「てトロ」の試乗体験を行った。

(6) 鉄道フェスティバルスタンプラリー

会場内にあるスタンプを全て集めた方に電車のペーパークラフトをプレゼントした。

(7) Nゲージ鉄道模型展示

鉄道ボランティア製作の模型を展示し、車両に搭載されたカメラで走行の様子を見学した。

(8) 工作コーナー

鉄道の絵が変わる「くるりんパズル」を作った。



Nゲージ鉄道車両操作体験の様子



鉄道関連資料展示の様子

スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット大会等で活躍している福島県立清陵情報高等学校・福島県立白河実業高等学校・福島県立郡山北工業高等学校と連携して、来館者にロボットと親しんでもらえる事業を開催した。

<ロボット展示・操作体験>

福島県立清陵情報高等学校・福島県立白河実業高等学校・福島県立郡山北工業高等学校で製作したロボットをはじめとするロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した

☆開催日時 令和6年3月23日(土)・24日(日)10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 798人

<工作ワークショップ>

福島県立清陵情報高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

☆開催日時 令和6年3月24日(日)14時～16時

☆開催場所 展示ゾーン実験工房(20階)

☆対 象 小学3年生～中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 20人



ロボット展示・操作体験の様子



工作ワークショップの様子

(2) パソコン工房の活用

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。(約50分間)

☆開催時間 日曜日 13時30分～(イベント開催日は除く。)

☆開催場所 展示ゾーンパソコン工房(20階)

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 16人以下

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和5年 4月	ノート作り	5回	53人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「ノート」を製作した。
令和5年 5月	ポストカード作り	3回	17人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「ポストカード」を製作した。
令和5年 6月	おもちゃ作り「パッチンカエル」	4回	28人	自分の顔写真やイラストを使用して「パッチンカエル」という紙製のおもちゃを製作した。
令和5年 7・8月	うちわ作り	3回	34人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「うちわ」を製作した。
令和5年 9月	おもちゃ「ペーパーブーメラン」	3回	32人	イラストや文字を入れた、オリジナルの「ブーメラン」を製作した。

令和5年 10月	ゲーム作り「はじめてのスクラッチプログラミング」	4回	42人	Scratchプログラミングでオリジナルの「ゲーム」を製作した。
令和5年 11月	カレンダー作り	4回	51人	イラスト等を使用して、オリジナルの「カレンダー」を製作した。
令和6年 1月	すごろく作り	3回	29人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「すごろく」を製作した。
令和6年 2月	ペン立て作り	4回	54人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「ペン立て」を製作した。
令和6年 3月	パワポでプログラミング【アニメ編】	3回	66人	パワーポイントを使用して、オリジナルの「アニメ」を製作した。

参加者数 406人

(3) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

県内学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム、スペースパークボランティアの会などの皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

☆開催日時 ①ゴールデンウイーク期間：

令和5年5月3日（水・祝）～7日（日） 10時～17時

②夏季期間：令和5年7月15日（土）～17日（月・祝） 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 ①ゴールデンウイーク期間：3,037人

②夏季期間：1,906人

☆参加団体 福島県立福島高等学校、福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立あさか開成高等学校、福島県立郡山萌世高等学校、福島県立会津学鳳高等学校、日本大学東北高等学校、郡山女子大学附属高等学校、帝京安積高等学校、福島工業高等専門学校、福島大学、国際情報工科自動車大学校、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム会員、ムシテックワールド、国立環境研究所、福島県環境創造センター、福島県農業総合センター、新福島芸能倶楽部、折紙倶楽部、福島県ハイテクプラザ、スペースパークボランティアの会

☆内 容 <ゴールデンウイーク>

風車と扇子、カライドサイクル、チリモンを探せ！、かすみ草のレジストラップづくり、光るスライム、重くなる1円玉！／光のふしぎ、プラ板で型どる！楽しいキーホルダー作りなど

<夏期>

バルーンアート、アクリルたわしづくり、鉱石で小瓶、だまされるな！
～視覚と味覚の実験～、プロジェクターを手作りしてイラストを映してみよう、UV ちょうちょうなど



日本大学東北高等学校の様子



ムシテックワールドの様子

<わくわく実験教室>

- ☆講師 郡山市ふれあい科学館職員
- ☆開催日時 令和5年5月3日(水・祝)～7日(日) 14時～14時30分
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 76人
- ☆内容 「空気のない世界」をテーマに、真空ポンプを作った。



空気のない世界の様子

<自由研究ミニ教室>

- ☆講師 郡山市ふれあい科学館職員
- ☆開催日時 令和5年7月15日(土)～17日(月・祝) 14時～14時30分
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 72人
- ☆内容 「酸・アルカリを調べよう」をテーマに、自由研究の取り組み方について研究例を交えながら紹介した。



酸・アルカリを調べようの様子

夏休み科学工作コーナー

科学を楽しむことができる工作コーナーを実施した。

☆開催日時 令和5年7月19日(水)～8月24日(木) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 2,625人

☆内容 オイルモーション、UVちょうちょう、光るスライム、ビー玉顕微鏡、ブンブンぜみの工作メニューを数日ごとに替えて行った。

(4) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室(団体向け)

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」を開催した。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ(ゴールデンウィーク及び長期休業期間を除く)

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 1,116人

☆内容 ワークショップ(ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケッコココップ等25種類)

サイエンススクール(団体向け)

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験をした。

サイエンススクールの、3つの特徴

- ① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー
- ② 科学館だからこそできるダイナミックな実験
- ③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ(ゴールデンウィーク及び学校の長期休業)

期間等を除く。)

- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学校団体
- ☆参加者数 45 人
- ☆内 容 1・2年 ドレミの音で大実験 (20分) 風船で大実験 (20分)
3 年 磁石の性質 (30分)
4 年 空気 (水) の性質 (30分)
5 年 振り子の運動 (30分)
6 年 燃焼のしくみ (30分)

3D天文シミュレーション (団体向け)

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行った。

- ☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ (ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。)
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小中高校等の学校
- ☆参加者数 58 人
- ☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

(5) 小中学生・高校生のための科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学工学部で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

- ☆開催日時 令和5年12月2日(土)・3日(日) 11時～16時
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 877 人
- ☆内 容 「太陽光発電による水素での充電、キラキラのスーパーボールを作ってみよう、「砂」のふしぎと液状化、QRコードでクイズラリーに挑戦!、紙コップ弓矢、雷を起こしてみよう!、コケッココップ(科学館)」の実験・工作を行った。



小中学生・高校生のための
科学技術へのいざない開催の様子

5 教育普及活動

(1) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルを、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議に身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 令和5年6月～令和6年2月（学校長期休業期間を除く。）

☆貸出回数 628日

(2) 講師派遣（アウトリーチ事業（出前講座））

星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	令和5年4月28日(金) 18時30分～20時	小原田地域 公民館	小原田地域 公民館	79人	月・金星の観察、星の見方の紹介など
第2回	令和5年6月24日(土) 19時～20時30分	富田西地域 公民館	富田西地域 公民館	53人	アークトゥルス・スピカの観察、星の見方の紹介など
第3回	令和5年7月22日(土) 19時～20時30分	東部地域 公民館	東部地域 公民館	33人	悪天候のため、星図の使い方、望遠鏡で天体写真の観察など
第4回	令和5年8月27日(日) 18時30分～20時	安積公民館	安積公民館	21人	月・土星の観察、星の見方の紹介など
第5回	令和5年9月30日(土) 18時～19時30分	逢瀬公民館	逢瀬公民館	18人	悪天候のため、星図の使い方、望遠鏡で天体写真の観察など
第6回	令和5年10月28日(土) 17時30分～19時	行徳地域 公民館	行徳地域 公民館	41人	木星の観察、星の見方の紹介など
第7回	令和5年11月11日(土) 17時～18時30分	久留米地域 公民館	久留米地域 公民館	56人	木星の観察、星の見方の紹介など
第8回	令和5年11月25日(土) 16時30分～18時	二瀬地域 公民館	二瀬地域 公民館	0人	中止（参加申込がなかったため）

参加者総数 301人



望遠鏡での観察の様子



室内講座の様子

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作の出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	令和5年7月7日(金) 15時00分～15時45分	富田幼稚園 ホームクラス	44人	「ぶっとびロケット」を製作した。
第2回	令和5年9月7日(木) 14時30分～15時30分	芳山小学校 (科学クラブ)	11人	「カラーキャンドル」を製作した。 材料の性質を学んだ。
第3回	令和5年9月28日(木) 14時00分～14時30分	希望ヶ丘 こども園	52人	「ビー玉ごま」を製作した。
第4回	令和6年2月21日(水) 14時00分～14時30分	あい・サポ 保育園	21人	「ぐにゅっとスライム」を製作した。

参加者総数 128人



ビー玉ごま製作の様子



ぐにゅっとスライム製作の様子

こどもまつり

第58回郡山市こどもまつりは会場が変更になったため参加を見送った。

高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参加校 福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立郡山商業高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
令和5年6月27日(火)	多目的研修室、宇宙劇場	オリエンテーション	21人
令和5年7月4日(火)	多目的研修室、宇宙劇場	オリエンテーション	4人
令和5年7月11日(火)	多目的研修室	望遠鏡のしくみ	14人
令和5年7月13日(木)	宇宙劇場	望遠鏡のしくみ	3人
令和5年8月29日(火)	宇宙劇場	星景写真の撮り方	3人
令和5年9月26日(火)	宇宙劇場	星景写真の撮り方	9人
令和5年10月3日(火)	宇宙劇場	プラネタリウムのしくみ	0人
令和5年10月17日(火)	宇宙劇場	プラネタリウムのしくみ	13人
令和5年10月24日(火)	実験工房、展望ロビー	テレビ観望会	11人
令和5年11月28日(火)	宇宙劇場	ふたご座流星群	5人
令和5年12月5日(火)	宇宙劇場	ふたご座流星群	4人
令和5年12月12日(火)	宇宙劇場	ふたご座流星群	4人

参加者総数 91人

ふくしまサイエンスぶらっとフォームアウトリーチ活動

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し、連携して科学普及のイベントを行った。

<ムシテック祭り>

☆派遣日時 令和5年11月11日(土) 9時30分～16時

☆派遣場所 ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)

その他講師派遣

<郡山市男女共同参画フェスティバル>

☆派遣日時 令和5年6月24日(土)・25日(日) 10時～17時

☆派遣場所 郡山市男女共同参画センター(さんかくプラザ)

<郡山カルチャーパーク「キッズデー」>

☆派遣日時 令和5年7月8日(土) 10時～12時

☆派遣場所 郡山カルチャーパーク

<星のソムリエ® 仙台講座>

☆派遣日時 令和5年7月8日(土) 13時30分～15時40分

☆派遣場所 仙台市市民活動サポートセンター(宮城県)

<コミュタン福島「ナイトミュージアムの星空観賞会」>

☆派遣日時 令和5年7月27日(木) 18時～20時

☆派遣場所 福島県環境創造センター

<平成記念郡山こどものもり公園「星空の観察会」>

☆派遣日時 令和5年7月30日(日) 19時～21時

☆派遣場所 平成記念郡山こどものもり公園

<コミュタン福島「ナイトミュージアムの星空観賞会」>

☆派遣日時 令和5年8月3日(木) 18時～20時

☆派遣場所 福島県環境創造センター

<長沼コミュニティセンター「親子ふれあい教室」>

☆派遣日時 令和5年8月20日(日) 19時～20時30分

☆派遣場所 長沼コミュニティセンター

<大安場史跡公園提案事業「古墳でお月見」>

☆派遣日時 令和5年9月24日(日) 18時～20時

☆派遣場所 大安場史跡公園

<稲田コミュニティセンター「親子チャレンジ講座」>

☆派遣日時 令和5年10月14日(土) 18時30分～20時

☆派遣場所 稲田コミュニティセンター

<郡山市上下水道局「きれいな水へのかえりみち謎解き☆バスツアー」>

☆派遣日時 令和5年10月15日(日) 10時～14時

☆派遣場所 サンサングリーン湖南

<郡山石筵ふれあい牧場「親子流星観察体験」>

☆派遣日時 令和5年10月22日(日) 18時30分～20時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

<郡山石筵ふれあい牧場「親子水ロケット製作打ち上げ体験」>

☆派遣日時 令和5年11月4日(土) 10時～12時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

<カルチャーパークキッズデー&感謝祭 郡山市観光交流公社事業「星の宅配便」>

☆派遣日時 令和5年11月5日(日) 15時～16時

☆派遣場所 郡山カルチャーパーク 展示室

<大東コミュニティセンター「青少年教育講座」>

☆派遣日時 令和5年11月19日(日) 17時30分～19時

☆派遣場所 大東コミュニティセンター

<川俣こども科学館「サイエンスショー in かわまた」>

☆派遣日時 令和5年11月25日(土) 10時～12時

☆派遣場所 鶴沢公民館

<須賀川市民交流センター「スクールファミリー「星空観察プラネタリウム」」>

☆派遣日時 令和5年12月23日(土) 10時～11時30分

☆派遣場所 須賀川市民交流センター

<いしかわ子ども交流センター「特別投映 フリートーク・プラネタリウム」>

☆派遣日時 令和6年1月20日(土)・21日(日)

☆派遣場所 いしかわ子ども交流センター

<けんしん郡山文化センターアートギャラリー「プラネタリウム100周年 歴史解説パネル展」>

☆派遣日時 令和6年2月1日(木)～3月31日(日)

☆派遣場所 けんしん郡山文化センター

<平成記念郡山こどものもり公園「日時計の工作&天文学講座」>

☆派遣日時 令和6年3月20日(水・祝) 10時～12時

☆派遣場所 平成記念郡山こどものもり公園

(3) 職場体験としての機会提供

博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 令和5年9月6日(水)～13日(水)

※11日(月)を除く7日間

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆実習生 6人

郡山女子大学短期大学部地域創成学科 : 3人

都留文科大学文学部比較文化学科 : 1人

石巻専修大学理工学部生物科学科 : 1人

東京農業大学生物産業学部海洋水産学科 : 1人

実習日	実習内容
令和5年9月6日(水)	開講式、実習説明、展示見学、展示実習、接遇研修、宇宙劇場機器説明
7日(木)	展示実習、宇宙劇場番組見学、館内対応
8日(金)	展示実習、宇宙劇場番組見学
9日(土)	展示実習、展示実習発表準備、同発表
10日(日)	館内対応、番組見学、宇宙劇場実習準備
11日(月)	休館日
12日(火)	宇宙劇場実習準備、同解説練習
13日(水)	宇宙劇場実習準備、宇宙劇場課題発表、宇宙劇場発表講評、閉講式



博物館実習の様子

(4) クラブ活動

天文科学クラブ

1年を通して星空と宇宙の楽しみ方や科学の不思議を体験することができるクラブを開催した。

☆開催回数 Aクラス8回、Bクラス8回（令和5年6月～令和6年2月）

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、宇宙劇場、ミューカルがくと館、開成山公園自由広場

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 40人（Aクラス：20人、Bクラス：20人）

メニュー	クラス	開催日	参加者数
光と影の科学	A	令和5年6月10日(土)	18人
	B	令和5年6月24日(土)	15人
望遠鏡を作ってみよう	A	令和5年7月1日(土)	17人
	B	令和5年7月8日(土)	18人
カラダのひみつ	A	令和5年8月26日(土)	17人
	B	令和5年9月2日(土)	13人
星空を見よう!～星空観察会～	A・B	令和5年9月23日(土・祝)	84人
不思議素材	A	令和5年10月14日(土)	13人
	B	令和5年10月21日(土)	14人
プログラミングで宇宙ミッション	A	令和5年11月11日(土)	17人
	B	令和5年11月25日(土)	14人
氷の性質	A	令和6年1月13日(土)	13人
	B	令和6年1月27日(土)	17人
宇宙の天体を知ろう!	A	令和6年2月10日(土)	14人
	B	令和6年2月24日(土)	17人

延べ参加者数 301人



星空観察会の様子



氷の性質の様子

(5) 講座・講演会

星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招いて開催した。

第 40 回星の講演会

<木星氷衛星探査計画 JUICE –ガニメデの地下には海がある?–>

☆講師 齋藤 義文 氏 (JAXA 宇宙科学研究所)

☆開催日時 令和5年12月3日(日) 16時~17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 60人

☆内容 2023年4月に打ち上げられた木星氷衛星探査機 JUICE について、プロジェクトリーダーを務める齋藤先生から、探査ミッションの意義や目的、日本の役割などを紹介いただいた。



開催中の様子



開催中の様子

プラネタリウム 100 周年記念イベント

プラネタリウム 100 周年にちなみ、プラネタリウムを通じた天文に関する興味関心を高めることのできる講演会を開催した。

<プラネタリウム 100 周年記念「宇宙劇場バックヤードツアー」>

☆開催日時 令和5年10月7日(土)・8日(日)、11月4日(土)・5日(日)
18時~19時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 47人

☆内容 普段は一般公開していない当館宇宙劇場設備の見学と、プラネタリウム投映機の機構紹介や操作デモンストレーションを行った。



宇宙劇場バックヤードツアーの様子

<全国一斉 プラネタリウム 100 周年記念イベント>

☆開催日時 令和5年10月21日(土) 18時30分～19時50分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 115人

☆内 容 世界および郡山でのプラネタリウムの歴史解説、当館開館当初の映像システム「デジキャンバス」の映像再現、全国一斉スペシャルライブ配信「みんなで見上げよう！100年前の星空」を行った。



全国一斉プラネタリウム100周年
記念イベントの様子

星空案内人資格認定制度（星のソムリエ®）

特定非営利活動法人星のソムリエ機構が運営する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、星空案内人資格認定を行った。

☆開催期間 令和5年4月～令和6年3月

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 14回

☆受講者総数 70人

<星空案内人資格認定証授与式および特別講座>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

☆開催日 令和5年11月26日(日) 15時～17時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 星空案内人（準案内人）22人

☆内 容 資格認定証授与および特別講座

特別講座「星のソムリエ®の楽しみ方」 講師：星のソムリエのみなさん

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する

講座を、テーマ別に2期開催した。

<『星のソムリエ[®]』になりませんか？>

☆開催回数 8回（令和5年5月～令和5年11月）

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
さあ、はじめよう	令和5年5月17日(水)19時～21時	32人
星座を見つけよう	令和5年6月21日(水)19時～21時	29人
望遠鏡のしくみ	令和5年7月5日(水)19時～21時	29人
望遠鏡を使ってみよう	令和5年8月30日(水)19時～21時	25人
宇宙はどんな世界？	令和5年9月20日(水)19時～21時	27人
星空の文化に親しむ	令和5年10月18日(水)19時～21時	26人
星空案内の実際	令和5年11月15日(水)19時～21時	29人
認定証授与式および特別講座	令和5年11月26日(日)15時～17時30分	31人

延べ参加者数 228人

<プラネタリウムのすべて>

☆開催回数 4回（令和5年12月～令和6年2月）

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
光学式プラネタリウムのしくみ	令和5年12月6日(水)19時～21時	20人
デジタルプラネタリウムのしくみ	令和5年12月20日(水)19時～21時	20人
プラネタリウムの歴史	令和6年1月24日(水)19時～21時	18人
移動式プラネタリウム	令和6年2月7日(水)19時～21時	18人

延べ参加者数 76人



星のソムリエ® になりませんか?の様子



プラネタリウムのすべての様子

科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。

<パイプロボコン>

☆講師 岡本 正行 氏（株式会社 MANOI 企画／ロボットゆうえんち）

☆開催期間 令和5年7月31日（月）～8月2日（水）

8月21日（月）～23日（水）

令和6年2月23日（金）～25日（日）

☆開催場所 展望ロビー、実験工房

☆対象 一般来館者

☆内容 「メカモグラ」というパイプの中を移動できるロボットを使用したタイムアタック大会や、ロボット工作教室等の催しを開催した。



「パイプロボコン」の様子

<福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱>

「ロボットと人工知能」

☆講師 高橋 隆行 氏（福島大学 理工学群 共生システム理工学類 教授）

☆開催期間 令和5年11月12日（日） 13時～15時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生5年生以上

☆参加者数 14名

☆内 容 福島大学と連携し、最新のロボットや人工知能の能力に関する講座を開催した。



「ロボットと人工知能」の様子

<「第64回科学技術映像祭」入選作品上映会>

☆開催期間 令和5年12月28日(木)～30日(土)、
令和6年1月3日(水)・4日(木)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン来館者

☆参加者数 193名

☆内 容 「第64回 科学技術映像祭」で入選した作品の上映会を以下の時間帯で開催した。

11:00～11:30 所さんの目がテン！登山鉄道の科学

12:00～12:26 ガリレオX サイボーグ昆虫 生物と機械を融合させる驚異の技術

13:00～13:49 NHK スペシャル 超・進化論 第1集 植物からのメッセージ～地球を彩る驚異の世界～

14:30～15:29 コズミック フロント流星群 星降る夜の謎



「第64回科学技術映像祭」入選作品上映会の様子

<曾田香料株式会社との連携事業>

「香りの魅力ーオリジナル香水を作ってみようー」

- ☆講 師 鈴木 文香 氏（曾田香料株式会社調香師）
- ☆開催日時 令和6年2月17日（土） 13時30分～16時30分
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学5年生以上（小学生は保護者同伴）
- ☆参加者数 35名
- ☆内 容 「香り」「香水」に関する講座を開催した。



「香りの魅力ーオリジナル香水を作ってみようー」の様子

<日本大学工学部との連携事業>

「地球を測る人工衛星を作ってみよう！」

- ☆講 師 若林 裕之 氏（日本大学工学部情報工学科）
- ☆開催日時 令和6年3月10日（日） 13時～14時30分
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学4年生以上（小学生は保護者同伴）
- ☆参加者数 17名
- ☆内 容 地球を観測するための人工衛星について、ペーパークラフト製作を交えながら紹介する講座を開催した。



「地球を測る人工衛星を作ってみよう！」の様子

連携事業

APRIM2023 パブリックレクチャー

- ☆講 師 梶田 隆章 氏（日本学術会議会長／東京大学卓越教授）
- 村山 斉 氏（カリフォルニア大学バークレー校教授／東京大学特別教授）

- ☆登壇 司会:林 左絵子 氏 (APRIM2023 科学組織委員長／国立天文台准教授)
主催者挨拶:渡部 潤一 氏 (APRIM2023 組織委員長／名誉館長)
- ☆開催日時 令和5年8月12日(土) 13時～15時30分
- ☆開催場所 宇宙劇場
- ☆参加者数 177人
- ☆内容 郡山での APRIM2023 (アジア太平洋地域の天文学に関する国際会議) 開催にあわせ、APRIM2023 組織委員会、日本学術会議と連携し、一般向け公開講演会を行った。梶田隆章先生からは「神岡の地下から探る宇宙の謎」、村山斉先生からは「私たちはどこから来たのか」という演題で講演いただいた。オンライン中継およびアーカイブ配信を行った。



梶田隆章先生の講演の様子



村山斉先生の講演の様子

宇宙少年団連携イベント

(a) ドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」

☆開催期間 4月29日(土)～5月7日(日)

☆観覧者 1,981人

(b) ゴールデンウィーク特別企画「スペースパーク」★「宇宙なんちゃら こてつくん」

☆開催期間 4月29日(土)～5月7日(日)

☆場所 展示ゾーン

(c) 日本宇宙少年団こおりやま分団 活動報告展

☆開催期間 3月9日(土)～31日(日)

☆場所 展望ロビー



ゴールデンウィーク特別企画の様子



活動報告展の様子

ラジオ福島×郡山市ふれあい科学館タイアップ企画 「SUNK INスペシャル@スペースパーク」公開生放送

☆出 演 大平 貴之 氏 (プラネタリウム・クリエイター)
手塚 伸一 氏 (rfc アナウンサー)
MANAMI (歌手)
科学館職員

☆開催日時 令和5年12月2日(土) 10時～13時

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 159名

☆内 容 大平貴之氏によるプラネタリウムづくりのきっかけや活動に関するトーク、MANAMIさんの歌唱、当館内を回りながらの中継などを生放送で行った。



「SUNKINスペシャル@スペースパーク」公開生放送の様子

国立環境研究所福島地域協働研究拠点 連携講座 標本をつくって知る、身近な虫たち

☆講 師 国立環境研究所職員
・吉岡 明良 氏
・JO Jaeic 氏

・石井 弓美子 氏

- ☆開催日時 令和5年7月1日(土) 13時30分～15時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
- ☆参加者数 20名
- ☆内 容 国立環境研究所福島地域共同研究拠点と連携し、昆虫標本をつくる講座を実施した。



「標本をつくって知る、身近な虫たち」の様子

<雪氷楽会 おもしろ科学体験！雪と氷のふしぎ>

- ☆講 師 日本雪氷学会・日本雪工学会有志のみなさん
- ☆開催日時 令和5年9月3日(日) 10時～15時
- ☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆内 容 日本雪氷学会・日本雪工学会と連携し、雪や氷の最新科学をテーマに、子どもから大人まで楽しめる簡単な科学実験・工作を行った。



「雪氷楽会」の様子

(6) 観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋

☆対 象 一般（当日自由参加）

開 催 日 時	観望内容	参加者数
令和5年4月29日(土・祝)19時～20時	月・火星など	悪天候のため中止
令和5年5月27日(土)19時～20時	月など	100人
令和5年7月1日(土)19時30分～20時30分	月・金星など	悪天候のため中止
令和5年7月29日(土)19時30分～20時30分	月など	50人
令和5年8月26日(土)19時～20時	月など	40人
令和5年9月23日(土・祝)18時30分～19時30分	月・土星など	30人
令和5年10月21日(土)17時30分～18時30分	月・土星など	40人
令和5年11月18日(土)17時～18時	月・土星など	悪天候のため中止
令和6年3月16日(土)18時30分～19時30分	月・木星など	100人

参加者総数 360人

天体観望会

<太陽観察会>

太陽を観察する観望会を開催した。

☆開催日時 令和5年10月22日（日） 9時45分～11時45分

☆開催場所 ミューカルがくと館およびその周辺

☆参加者数 48名

☆内 容 太陽観察メガネおよび日時計の工作、太陽観察メガネを使った太陽の観察
太陽投影板による黒点の観察



駅前観望会の様子



太陽観察会の様子

(7) 学習支援

天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行った。

☆実施期間 令和5年4月～令和6年3月

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートした。

6 宇宙や科学に関する情報発信事業

(1) 企画パネル展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

テーマ	展 示 期 間
お誕生日の星座めぐり	令和5年4月1日(土)～5月28日(日)
月のひみつ	令和5年6月3日(土)～8月27日(日)
プラネタリウム 100 周年記念 プラネタリウムのあゆみ	令和5年9月2日(土)～11月26日(日)
宇宙の美しい天体たち	令和5年12月2日(土)～令和6年1月8日(月・祝)
第7回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	令和6年3月16日(土)～31日(日)

展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催した。

テーマ	展 示 期 間
スペースパーク サイエンスピック	令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
変形型月面ロボット「SORA-Q Flagship Model」展示	令和5年11月1日(水)～令和6年3月31日(日)
星空と科学を楽しむスペースパークニュース「ほしのうみ」	令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)

(2) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行った。

<全国プラネタリウム大会 2023・倉敷>

☆開催日 令和5年6月12日(月)～14日(水)

☆開催場所 倉敷科学センター

<令和5年度全国科学館連携協議会東北ブロック会議>

☆開催日 令和5年11月15日(水)・16日(木)

☆開催場所 青森県立三沢航空科学館

7 作品募集

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催することで、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示を県内外で行い、広く普及活動を実施した。

<第7回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト>

- ☆テーマ 福島県内で撮影された「星・月の風景」
- ☆募集期間 令和5年9月1日(金)～11月5日(日)
- ☆協賛 (株)シグマ、(株)ケンコー・トキナー
- ☆後援 福島県・郡山市観光協会・福島民報社・福島民友新聞社・朝日新聞福島総局・毎日新聞福島支局・読売新聞東京本社福島支局・NHK福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM・郡山コミュニティ放送
- ☆応募作品 321点(99人)
- ☆審査員 鈴木一雄氏(自然写真家)、渡部潤一氏(天文学者・名誉館長)、佐藤宏(郡山市ふれあい科学館長)
- ☆受賞作品 大賞1点、審査員特別賞2点、特別賞5点、入賞32点
- ☆展示期間 令和6年3月16日(土)～5月26日(日)
※表彰式：令和6年3月16日(土) 13時～13時40分
- ☆展示場所 ホワイエ
- ☆出版物 「ふくしま星・月の風景 Vol.7 一第7回ふくしま星・月の風景 作品写真集一」



【大賞】「蕎麦畑に白虹」



審査の様子



作品展会場の様子



表彰式の様子

<ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

三鷹展

- ☆展示期間 令和5年4月1日(土)・2日(日)
- ☆展示場所 三鷹市天文・科学情報スペース(東京都三鷹市)
- ☆主催共催 三鷹市天文・科学情報スペース
- ☆内 容 過去のコンテスト選出写真から作品31点

APRIM2023展

- ☆展示期間 令和5年8月7日(月)～11日(金・祝)
- ☆展示場所 ビックパレットふくしま(郡山市)
- ☆主催共催 APRIM2023組織委員会
- ☆内 容 過去のコンテスト選出写真から特別賞以上選出作品12点

いわき(宇宙フェス2023)展

- ☆展示期間 令和5年11月3日(金・祝)～5日(日)
- ☆展示場所 いわき市文化センター(いわき市)
- ☆主催共催 ふくしま浜通り天文科楽普及プロジェクト
- ☆内 容 第6回コンテスト選出作品40点

三鷹展

- ☆展示期間 令和6年2月16日(金)～3月31日(日)
- ☆展示場所 三鷹市天文・科学情報スペース(東京都三鷹市)
- ☆主催共催 三鷹市天文・科学情報スペース
- ☆内 容 過去のコンテスト選出写真から作品32点

いわき展

- ☆展示期間 令和6年3月2日(土)～24日(日)
- ☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)
- ☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ
- ☆内 容 第6回コンテスト選出作品40点

8 出版

(1) 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開した。

(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開した。

9 調査・研究

(1) 天文関連協議会調査

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案及び既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
令和5年6月12日(月)～14日(水)	全国プラネタリウム大会 2023・倉敷(倉敷科学センター)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査および発表

(2) 天文最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、天文学や宇宙科学の研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、視察を行った。

調査日	調査先	内容
令和5年8月7日(月)～11日(金・祝)	国際天文学連合アジア太平洋地域会議 [APRIM2023](ビッグパレットふくしま)	天文学研究の現状および事業に関する調査

(3) 展示協議会等調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学館・博物館でつくる協議会などに参加し市民への教育普及活動に資する資料収集や調査活動を行った。

調査日	調査先	内容
令和5年11月1日(水)	全国科学館連携協議会 2023年度第1回国内研修(オンライン)	千葉市科学館 オンライン展示見学
令和5年11月15日(水)・16日(木)	全国科学館連携協議会 2023年度 東北ブロック会議(研修会)(青森県立三沢航空科学館)	科学工作の発表
令和6年2月14日(水)・15日(木)	全国科学館連携協議会 2023年度第2回国内研修(日本科学未来館・パナソニックセンター東京)	日本科学未来館 概要説明 / 展示見学 パナソニックセンター東京 概要説明 / 展示見学
令和6年2月21日(水)・22日(木)	全国科学博物館協議会総会・第31回研究発表大会(滋賀県立琵琶湖博物館)	「コミュニティとともに活動する博物館」をテーマにした発表の聴講等

(4) 展示最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学技術や研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、全国からさまざまな企業等が出展する展示会の視察を行った。

調査日	調査先	内容
令和5年6月20日(火)・21日(水)	資源エネルギー庁主催「科学館等職員対象研修会」(名古屋市科学館)	「カーボンニュートラル」をテーマにした講演の聴講や名古屋市科学館の見学。
令和5年11月23日(木・祝)	ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2023(ビッグパレットふくしま)	最先端の宇宙開発やロボットに関する情報収集

10 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

☆開催日時 令和5年5月～令和6年2月（毎月1回 日曜日 10時～12時）

☆開催場所 多目的研修室

☆開催回数 10回

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 30人

☆専任指導員 大越 清美 氏、小野 一豊 氏、横田 俊徳 氏

☆内容 ピョンピョン跳ねるおもちゃ作り、身近な材料で楽器作り、万華鏡作り、月面探査車作り、風力発電機作り、カライドサイクル作り、プロジェクター工作、モーターで走る紙トラック作り、ふりこ作り、オリジナルデザインの風車作り



月面探査車製作の様子

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を行っている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員が天体望遠鏡工作の指導や宇宙に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動日 令和5年4月～令和6年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館など

☆活動内容 プラネタリウム工作など

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学や県内の公設研究機関と科学館・博物館で構成される機関に加盟し、科学普及等の情報交換を行った。

<第1回 ふくしまサイエンスぷらっとフォーム会議>

☆開催日時 令和5年4月25日（火） 14時～16時30分

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館及びオンライン会議

<第2回 ふくしまサイエンスぷらっとフォーム会議>

☆開催日時 令和5年6月6日(火) 14時30分～16時30分

☆開催場所 福島県環境創造センター及びオンライン会議

<第3回 ふくしまサイエンスぷらっとフォーム会議>

☆開催日時 令和5年7月13日(木) 10時～11時

☆開催場所 オンライン会議

<第4回 ふくしまサイエンスぷらっとフォーム会議>

☆開催日時 令和5年10月27日(金) 10時30分～12時

☆開催場所 オンライン会議

<第5回 ふくしまサイエンスぷらっとフォーム会議>

☆開催日時 令和6年3月8日(金) 14時～16時30分

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館及びオンライン会議

郡山市産業雇用政策課

郡山市産業雇用政策課に協力し、「Z世代が創る！地元企業プロモーション事業」表彰式を当館で開催した。

☆開催日時 令和5年12月14日(木) 17時30分～18時40分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者 60人

(2) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進

<全体の概要>

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会(略称:S.P.V)」が発足し、今年度20年目を迎えた。

本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を理解し、広め、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



<スペースパークボランティア大募集>

案内・科学・天文の各グループのボランティアを広く市内外から募集した。

募集スケジュール

募 集 期 間	登録前オリエンテーション及びボランティア研修
令和5年3月1日(水)～4月30日(日)	令和5年5月21日(日) 令和5年6月18日(日) 令和6年1月28日(日)

※登録前オリエンテーション及びボランティア研修

スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的としたオリエンテーションと研修を開催した。

<登録状況>

☆グループ別

	案 内	科 学	天 文	合 計
前年度からの登録更新者	8人	29人	30人	67人
令和5年度登録者	4人	3人	5人	12人
合 計	12人	32人	35人	79人

☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県 外
前年度からの登録更新者	36人	31人	32人	35人	0人	60人	4人	3人
令和5年度登録者	7人	5人	8人	3人	1人	9人	3人	0人
合 計	43人	36人	40人	38人	1人	69人	7人	3人

☆年代別

年 代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人 数	0人	5人	4人	4人	10人	33人	19人	4人

<ボランティア活動>

○案内グループボランティア

☆活 動 時 間 平日：午前の部（9時30分～13時）

土曜・日曜・祝日：午前の部（9時30分～13時）

午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助、郡山の歴史説明

☆延べ活動時間 233時間

☆延べ活動人数 84人

○科学グループボランティア

☆活動時間 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部（9時30分～13時）
午後の部（12時30分～16時）

☆内容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間 2171時間

☆延べ活動人数 617人

○天文グループボランティア

☆活動時間 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間 508時間

☆延べ活動人数 138人

<出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民と共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内のさらなる生涯学習活動の促進を目指した。

○お寺 de ごはん

科学グループ

☆出展日 令和5年8月6日（日）

☆場所 法現寺

☆メニュー 種たねタネ

○コミュタン環境ラボ（センター開所7周年イベント）

科学グループ

☆出展日 令和5年8月12日（土）・13日（日）

☆場所 コミュタン福島（福島県環境創造センター）

☆メニュー 種たねタネ

○大成公民館（社会福祉協議会）

科学グループ

☆出展日 令和5年9月30日（土）

☆場所 大成公民館

☆メニュー バランスとんぼ、種たねタネ、風船ロケット

○spff サイエンス屋台村

科学グループ

☆出展日 令和5年12月16日（土）

☆場 所 コミュタン福島（福島県環境創造センター）

☆メニュー 風船ロケット

<自主企画イベント スパースパークボランティアまつり>

案内、科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方々に発表した。

☆開催日時 令和6年3月2日（土）・3日（日） 10時～15時

☆開催場所 22階展望ロビー

☆内 容 案内グループ 紙芝居の実演、昔遊びなど

科学グループ 科学工作、折り紙

天文グループ 星座早見盤、日時計づくり

その他 天文ボランティアによるミニ講座、スタンプラリー



紙芝居の実演（案内グループ）の様子



科学工作（科学グループ）の様子



星座早見盤づくり（天文グループ）の様子



ミニ講座の様子

<館事業サポート活動>

○サイエンスフェスティバル（ゴールデンウィーク）

科学グループ

☆開催期間 令和5年5月4日（木・祝）・6日（土）

☆メニュー 軽く動かすだけで良く回る風車を作る

○サイエンスフェスティバル（夏期）

科学グループ

☆開催日 令和5年7月16日（日）

☆メニュー UV ちょうちょう

○鉄道フェスティバル

☆開催期間 令和5年10月7日（土）～9日（月・祝）

案内グループ

☆メニュー 鉄道ジオラマ解説、鉄道写真等展示・解説

<科学館の事業における天体観望会等>

○駅前観望会

☆開催回数 6回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋

☆内 容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○星の宅配便

☆開催回数 7回

☆開催場所 市内公民館

☆内 容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○天体観望会

☆開催回数 10回

☆開催場所 ミューカルがくと館、平成記念こどものもり公園、福島県環境創造センター、郡山石筵ふれあい牧場、大安場史跡公園、長沼コミュニティセンター、稲田コミュニティセンター

☆内 容 市内外各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

<科学グループ自主勉強会>

○科学ボランティアミニ勉強会

☆開催日 令和6年1月28日（日）

☆テーマ 「聴覚」

☆開催場所 多目的研修室

<令和5年度総会>

令和5年度活動報告、役員選出案、令和6年度活動計画案を審議し、また、会員の活動表彰（一定の活動時間を達成した会員に贈る）を行った。

今年度は、9人が受賞した。

☆開催日時 令和6年3月16日（土） 13時30分～15時

Ⅲ 令和5年度広報・営業活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開した。

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行した。

☆構成 成 A4カラー2ページ

☆発行総数 375,000部

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図った。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

☆更新回数：224回

☆参照回数：294,265回

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

☆配信回数：13回

☆配信先：724か所（令和6年3月時点）

テレビスポット

☆期間等 令和5年7月15日～8月20日 福島テレビ、15秒スポット40本

☆内容 夏休みドーム映像番組「発見！南極に恐竜がいた！」・スペースパーク企画展「くらべる図鑑展」

☆期間等 令和5年12月3日～24日 福島テレビ、15秒スポット45本

☆内容 冬のドーム映像番組「キングペンギン -ペンギン親子の子育て日記-」・スペースパーク企画展「色と光のふしぎ発見！」

新聞広告

☆掲載日等 令和6年1月3日 朝日新聞

☆内容 冬のドーム映像番組「キングペンギン -ペンギン親子の子育て日記-」

スペースパーク企画展「色と光のふしぎ発見！」

広報紙及び雑誌等への掲載

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努めた。

看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペDESTリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

SNS等による情報発信（#おうちでスペパ）

Facebookによるイベントや番組の情報発信を行った。また、InstagramやYouTubeによる実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「#おうちでスペパ」を行った。

☆更新回数：Facebook 90回、Instagram 151回、YouTube 2回、LINE 108回

(2) 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布した。

広 報 紙 送 付 先	
幼稚園・保育所	市内 (95)
小学校	市内 (54)、市外 (166)
中学校	市内 (28)
公民館	市内 (39)
関係機関・道の駅など	市内 (49)、市外 (59)、県外 (21)

2 営業活動

民間事業者への営業訪問を実施した。

営 業 訪 問 先	
ホテル・観光業者・商店など	ホテル (19)、観光業者 (4)、商店 (8)、病院 (4)、その他 (18)

Ⅳ 令和6年度事業活動計画

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

<番組投映開始時刻> ※投映時間は約45分

曜日/回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平日	10時15分	11時30分	14時	15時30分		19時(※)
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	19時(※)

※金曜日のみ投映

※夏期間及び冬期間は別途番組開始時刻を定め実施

※10時15分の回は団体利用がある場合のみ投映

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目（学校休業期間は時季により異なる。）

番組タイトル	投映期間
新!宇宙大紀行	令和6年4月1日(月)～29日(月・祝)
未来の星空・過去の星空	令和6年5月1日(水)～6月30日(日)
太陽系ツアー	令和6年7月2日(火)～8月31日(土)
ー市制施行100周年・プラネタリウム100周年記念ー 天文学100年のあゆみ	令和6年9月1日(日)～10月31日(木)
宙飛ぶ天文台	令和6年11月1日(金)～12月30日(月)
星が生まれる	令和7年1月3日(金)～2月28日(金)
フリートーク・プラネタリウム	令和7年3月1日(土)～31日(月)

学習番組

※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目

的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル (対象)	投映期間
星座を見つけよう (小学校低学年以上)	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日 (第1・2回目)
日なたと日かげ (小学校中学年以上)	
月と星の動き (小学校中学年以上)	
月と太陽 (小学校高学年以上)	
地球と宇宙 (中学生向け)	
宇宙のお話 (中学生以上)	

幼児番組

※学習番組枠で希望により投映 (幼児週間以外)

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間
どうぶつたちのせいざ	令和6年4月～5月
たなばたのほしまつり	令和6年6月～7月
あきのほしさがし	令和6年8月～11月
ほしぞらだいぼうけん	令和6年12月～令和7年3月

キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人と一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間 (時季により投映回は異なる。)

番組タイトル	投映期間
宇宙を楽しもう!	令和6年4月1日(月)～5月26日(日)

たなばたのほし	令和6年6月1日(土)～7月31日(水)
宇宙いろいろベスト3	令和6年8月1日(木)～9月29日(日)
どせいりょこう	令和6年10月5日(土)～11月30日(土)
オーロラを見に行こう!	令和6年12月1日(日)～令和7年1月26日(日)
冬のほしめぐり	令和7年2月1日(土)～3月31日(月)

ヒーリングアワー（星と音楽のひととき）

様々なジャンルの音楽（CD）を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映する。

☆開催時間 平日（祝日・学校休業期間等を除く。） 15時30分～16時15分、
土曜・日曜・祝日・学校休業期間等 17時～17時45分、毎週金曜日
19時～19時45分

☆観覧券 当日発売

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各回220人

エンターテインメント映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を春休みや夏休み期間、秋及び冬の期間に投映する。

**投映時間：4/1～7の第2・4・6回目、4/5の第7回目、4/13～5/26の土曜・日曜・祝日の第1・4回目、
7/13～8/25（7/16～19を除く）の第1・3・5回目、
8/31～10/27の土曜・日曜・祝日の第1・4回目、9/28・29の第1・4回目、
11/1～11/30の平日の第5回目、土曜・日曜・祝日の第1・4回目、
12/7～1/13の土曜・日曜・祝日・学校休業期間の第1・4回目**

番組タイトル	投映期間
まだ見ぬ宇宙へ	令和6年4月1日(月)～5月26日(日)
ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング	令和6年7月13日(土)～8月25日(日)
水の惑星 一星の旅シリーズ	令和6年8月31日(土)～10月27日(日)
銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き	令和6年9月28日(土)・29日(日)
天空の果てへ	令和6年11月1日(金)～30日(土)

イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?! —ブラックホールとの遭遇—	令和6年12月7日(土)～令和7年1月13日(月・祝)
--	-----------------------------

プラネタリウムコンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催する。

< mic-alone Planetarium Winter Concert ~ Only One Star ~ >

- ☆開催日時 令和6年12月1日(日) ①11時～12時 ②14時30分～15時30分
- ☆演奏者 mic-alone
- ☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様
- ☆定員 各回220人

< MANAMI の星空フェスティバル >

- ☆開催日時 令和7年2月16日(日) ①14時～15時 ②17時～18時
- ☆演奏者 MANAMI
- ☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様
- ☆定員 各回220人

ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
ほしぞらのピクニック	令和6年5月23日(木)
あまのがわとおほしさま	令和6年8月30日(金)
おつきさまをみよう!	令和6年10月17日(木)
たのしいクリスマス	令和6年12月19日(木)
ほしのだいかぞく	令和6年2月20日(木)

いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
今夜の星空とデジタルプラネタリウムの世界	令和6年5月30日(木)
今夜の星空とやってくる彗星	令和6年8月27日(火)
今夜の星空と天界 2025	令和6年11月14日(木)

イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季、話題の天文現象に応じた番組を提供する。

☆内 容 年中行事や特定のテーマを集中的に解説する。

☆定 員 各回 220 人

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。(字幕作成協力：要約筆記「要約筆記こおりやま」)

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。(年2回)

☆定 員 各 220 人

英語版プラネタリウム

英語における解説を加えたプラネタリウム投映を行い、市内・県内在住の外国人の観覧機会を提供する。

☆内 容 英語による星座解説と宇宙の話題の紹介。

☆定 員 各回 220 人

宇宙劇場イベントデー

一般に星空への関心が高まる七夕、十五夜にあわせ、宇宙劇場番組をイベントに特化した内容で投映する。

<七夕スペシャル>

☆開催日時 令和6年7月6日(土)・7日(日)

<中秋の名月スペシャル>

☆開催日時 令和6年9月14日(土)～16日(月・祝)

宇宙劇場リニューアル記念イベント

宇宙劇場リニューアルを記念し、ドーム映像番組の投映および講演を行う。

<ドーム映像番組>

☆開催日時 令和6年9月～10月

☆内 容 「水の惑星 一星の旅シリーズ」

☆定 員 各回 220 人

<プラネタリウムでオーロラ体験！(オーロラ上映&トークライブ)>

☆開催日時 令和6年10月13日(日)

☆内 容 鮮やかなオーロラの実写映像をドームスクリーンに投映し、オーロラや

太陽活動を理解する特別プログラム。

☆講師 中垣 哲也 氏

☆定員 各回 220 人

市制施行 100 周年・プラネタリウム 100 周年イベント

郡山市制施行 100 周年とプラネタリウム 100 周年を記念し、100 周年にちなんだ特色ある事業を実施する。

<ドーム映像番組>

☆開催日時 令和 6 年 9 月 28 日（土）・29 日（日）

☆内 容 「銀河鉄道 999 赤い星ベテルギウス」

☆定員 各回 220 人

<プラネタリウム 100 周年記念 トーク&オリジナル映像投映「彼方まで 一板橋克己の宇宙紀行ー」>

☆開催日時 令和 6 年 9 月 28 日（土）16 時～17 時 30 分

☆講師 板橋 克己 氏

☆内 容 プラネタリウム 100 周年を記念して製作された動画の披露と、宇宙への夢を語っていただく。

☆定員 220 人

郡山市紹介オリジナルドーム映像コンテンツ制作

郡山市紹介オリジナルドーム映像コンテンツ制作

100 年を迎える郡山市の歴史と現在を紹介するフルドーム映像作品を制作し、一般および市内学校団体の社会科や総合的な学習に活用する。

☆制作期間 令和 6 年度～令和 7 年度

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ、トリプルスピンのスタッフを配置し、これらの体験型展示物を運転し来館者の利用に供する。

(2) 常設展示物の活用

展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借入物の展示を行い、有効活用を図る。

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応する。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置する。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

<ロボット展示>

☆開催場所 展示ゾーン トリプルスピン前

<わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日時 不定期（土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等に開催）

☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 科学工作

科学に関する情報提供（科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示）
宇宙メダカの展示

(3) サイエンスステージ

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施する。

サイエンスステージ①

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を実施する。（約 20 分間）

☆開催時間 平日 10時30分～（団体利用がある場合のみ実施）、13時～
土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人程度

☆内容 不思議な素材で大実験、音のひみつを探ろう！、空気力で大実験など

サイエンスステージ②

科学の幅広い分野を楽しみながら、体験できる実験工作を開催する。（約 20 分間）

☆開催時間 平日 11時30分～、15時～
日曜 11時30分～、16時～

土曜・祝日・学校長期休業期間 11時30分～、14時～、16時～
(サイエンスフェスティバル開催日等は除く。)

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人程度

☆内 容 カタチの科学 ～どんな科学がかくされているのかな?～、見えない光!
紫外線のひみつ など

3 展望ロビー利活用事業

(1) Nゲージ鉄道ジオラマ

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介する。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の①11時～ ②15時～ (約20分間)

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分 (ショー開催時間以外)

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

☆料 金 200円 (約5分間)

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<たんけん! 鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(2) 展望ロビーパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

(3) パブリックビューイング

日本人宇宙飛行士や日本の人工衛星・探査機打ち上げ、日本人宇宙飛行士の報告会、天文現象等が、開館時間中にJAXAや国立天文台等によりライブ配信される際、その映像をリアルタイムで公開する。

(4) 郡山市制施行100周年記念 ロボットで遊ボット！

パイプロボットを使ったタイムアタック大会など、ロボットに親しむ催しを開催する。

(5) みんなの展望ロビーイベント

展望ロビーの旧カフェスペースを活用し、当館の科学に関する事業だけでなく、市民のイベントや展示を目的とした活動に対する無料貸し出しや、市内の学習施設と連携事業を行う。

<折紙倶楽部作品展>

☆開催時期 5月12日(日)～31日(金)、12月4日(水)～12月15日(日)

☆実施者 折紙倶楽部

☆内容 折紙倶楽部が製作した折紙作品を展示した。

<展望ロビー折紙教室>

☆開催日時 5月19日(日)10時～16時、12月15日(日)10時～15時

☆実施者 折紙倶楽部

☆内容 展望ロビー来館者が自由に参加できる折紙教室を開催した。

<令和5年度あい・サポ保育園卒園作品展>

☆開催日時 6月1日(土)～6月30日(日)

☆実施者 郡山市認可保育所あい・サポ保育園

☆内容 令和5年度あい・サポ保育園メロン組の園児たちの卒園作品を展示した。

<猪苗代湖水環境保全活動～あさか開成高校の取り組み～展示>

☆開催日時 10月31日(木)～12月3日(火)

☆実施者 あさか開成高校(猪苗代湖を綺麗にし隊)

☆内容 あさか開成高校の猪苗代湖水環境保全活動について伝えるパネルや写真などの展示を行った。

4 展示ゾーン利活用事業

(1) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室(団体向け)

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」を開催する。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対 象 幼稚園・小学校・中学校、団体等

☆内 容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケコッココップ等 25 種類）

サイエンススクール（団体向け）

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験を行う。

サイエンススクールの、3つの特徴

- ①新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー
- ②科学館だからこそできるダイナミックな実験
- ③専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生

☆定 員 50人程度（相談により決定します。2回に分けての実施も可能）

☆内 容 1・2年 ドレミの音で大実験（20分）、風船で大実験（20分）
3年 磁石の性質（30分）
4年 空気（水）の性質（30分）
5年 振り子の運動（30分）
6年 燃焼のしくみ（30分）

3D天文シミュレーション（団体向け）

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小中高校等の学校

☆定 員 1回30人程度

☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

(2) エンターテインメント企画展

郡山市制施行100周年記念 スペースパーク企画展「科学館 de キモダメシ」

夏休み学校長期休業期間の目玉のイベントとなるエンターテインメント企画展を開催する。

☆開催日時 令和6年7月13日（土）～8月25日（日） 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室（20階）

- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆内容 科学的要素を取り入れた恐怖体験！

**郡山市制施行 100 周年記念 冬休みスペースパーク企画展
「運動科学×リアル謎解きゲーム」ナゾを解け！ネコの博士と3つのうごき**

冬休み学校長期休業期間の目玉のイベントとなるエンターテインメント企画展を開催する。

- ☆開催日時 令和6年12月7日（土）～令和7年1月13日（月・祝） 10時～17時
- ☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室（20階）
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆内容 謎解きキットでからだの仕組みや体を動かしたテストに取り組み、ゲームをクリアしていく。

スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット製作等に取り組んでいる近隣の実業高等学校等と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。

- ☆開催日時 令和7年3月22日（土）・23日（日） 10時～17時（予定）
- ☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室（20階）
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆内容 ロボット展示、操作体験
大会やコンテストに出場したロボット等の展示や操作体験を行う。
ロボット工作
簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料を活用したフェスティバルを開催する。

- ☆開催期間 令和6年10月12日（土）～14日（月・祝）
- ☆開催場所 展望ロビー、展示ゾーン 多目的研修室（20階）
- ☆対象 一般来館者、展示ゾーン入館者
- ☆内容 鉄道関連資料・写真展示、Nゲージ鉄道車両操作体験、プラレールコーナーなど

(3) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

- ☆開催日時 ①ゴールデンウィーク期間：令和6年5月3日（金・祝）～6日（月・祝）

②夏季期間：令和6年7月13日（土）～15日（月・祝）

- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆講師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員及び学生、スペースパークボランティアの会、市内外その他機関職員、科学館職員など
- ☆内容 移動昆虫館、分光器で虹をみてみよう！、こいのぼりほか

夏休み科学実験・工作コーナー

夏休み期間中、科学を楽しむことができる実験・工作コーナーを開催する。

- ☆開催期間 令和6年7月20日（土）～8月25日（日）
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆内容 おどるおばけ、どっきり光るスライム、うき浮きゴーストほか

(4) 3D天文シミュレーション

3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

- ☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15時～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30人程度
- ☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

(5) デジタル工房

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して工作等を作成する教室を開催する。（約50分間）

- ☆開催時間 日曜日 14時～ ※イベント開催日は除く。
- ☆開催場所 展示ゾーン パソコン工房（20階）
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 16人程度
- ☆内容 バッジ作り、うちわ作り、カレンダー作りなど

(6) 郡山市制施行100周年記念 小中学生・高校生のための科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し、新潟大学工学部で研究している最新科学の紹介や簡単な科学実験・工作を行う。

- ☆開催日時 令和6年12月7日（土）・8日（日）11時～16時
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対象 展示ゾーン入館者

(7) キッズルーム

未就学児を主な対象とした体験イベントを開催する。

☆開催日時 令和7年3月8日(土)・9日(日)10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)等

☆対 象 展示ゾーン入館者

5 展望ロビーイベント装飾事業

(1) 展望ロビーイルミネーション

地上高96mの幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置する

ハロウィン

☆開催日時 令和6年9月28日(土)～10月31日(木) 日没～20時

クリスマス

☆開催日時 令和6年12月6日(金)～25日(水) 日没～20時

ウインターイルミネーション

☆開催日時 令和6年12月26日(木)～令和7年1月上旬 日没～20時

(2) 展望ロビーシーズンディスプレイ

七夕飾り

☆開催日時 令和6年6月7日(金)～8月下旬

正月飾り

☆開催日時 令和7年1月2日(木)～1月7日(火)

6 教育普及活動

(1) 観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催する。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆対 象 一般(当日自由参加)

天体観望会

<彗星観察会>

秋に見ごろとなると予想されているツチンチャン・アトラス彗星を観察する観望会を開催する。

☆開催日時 令和6年10月12日(土) 18時～19時

☆開催場所 郡山駅歩行者連絡橋

☆内 容 双眼鏡や望遠鏡による彗星の観察

(2) アウトリーチ活動

星の宅配便

科学館職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催する。

☆開催時期 令和6年7月～11月

☆開催回数 5回(予定)

☆開催場所 中央公民館を通じて、各公民館と協議のうえ決定

☆定 員 各50人程度(各公民館で募集)

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施する出前講座を開催する。

☆開催時期 平日13時以降(各月申込み月日で調整する。2～3団体程度)

(ゴールデンウィーク、学校休業期間等を除く。)

☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など

☆対象者数 20人以上150人程度の団体(要相談)

☆内 容 団体向け科学工作メニュー(25種類)の中から1つを選ぶ。

高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する。

☆開催時期 令和6年6月、7月、9月、10月、11月、12月を予定

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場など

(3) クラブ活動

天文クラブ

宇宙劇場(プラネタリウム)や天体望遠鏡等を使用して、天文学の基礎知識を学習することにより宇宙への興味・関心を喚起するクラブを開催する。

☆開催時間 土曜日 9時45分～11時45分を基本とする

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場ほか

☆開催回数 5回(令和6年6月～令和7年2月)

☆対 象 小学3年生～6年生

☆募集人数 16人

科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、様々な科学分野への興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催時間 土曜日 9時45分～11時45分

☆開催場所 多目的研修室、実験工房

☆開催回数 5回（令和6年6月～令和7年2月）

☆対象 小学3年生～6年生

☆募集人数 16人

(4) 職場体験

博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を開催する。

☆開催期間 令和6年9月4日（水）～11日（水） ※9日（月）の休館日を除く7日間

インターンシップ（就業体験）受入れ

学校又は学生の求めに応じ、インターンシップ（就業体験）や中学生等の職場体験学習生を受け入れ、自己の職業適性や職業生活設計など職業選択について考える契機となり、就労意欲の向上に繋がるよう研修を開催する。

(5) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネル等を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議さなどを身近に触れることができる巡回展を行う。

☆開催期間 令和6年5月～令和7年2月（学校長期休業期間を除く。）

☆対象 市内小中学校

(6) 講師派遣

講師派遣

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催期間 通年

(7) 学習支援

天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行う。

☆実施期間 令和6年4月～令和7年3月

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループに、ゴールデンウィークや夏休

みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートいただく。

7 講演会事業

(1) 星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招き開催する。

第41回星の講演会

<週末、宇宙行く？が実現する世界を目指して>

☆開催日時 令和6年11月4日(月・休)

☆開催場所 宇宙劇場

☆講師 岩谷 圭介 氏(株式会社岩谷技研代表取締役/郡山市出身)

☆定員 220人

(2) 天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 4～6回程度

☆対象 一般(高校生以上)

☆募集人数 30人

8 他団体連携事業

(1) 国立天文台との連携による天文講演会

渡部潤一名誉館長による講演会を開催する。

<市制施行100周年記念 渡部潤一名誉館長講演会「天文学 これまでの100年、これからの100年」>

☆開催日時 令和6年11月16日(土) 16時～17時30分

☆定員 220人

(2) 星空案内人資格認定講座

特定非営利活動法人星のソムリエ機構と連携し、豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ：星空案内人」を養成する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 20回(通年)

☆対象 一般(高校生以上)

(3) 郡山市制施行 100 周年記念 科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

☆概要 県内外の大学・研究機関等から講師を招いて講座を開催する。

☆開催回数 2 回程度

☆連携先 福島大学、日本大学など

(4) 企業との連携事業

市内外の企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

☆概要 市内外の企業等から講師を招いて講座を開催する。

☆開催回数 1 回程度

☆連携先 株式会社東北村田製作所、曾田香料株式会社など

(5) 天文学検定

(一社) 天文学教育振興協会と連携して天文学検定を実施する。

☆開催場所 多目的研修室

☆開催回数 1 回

(6) 地域と連携した展示物制作

来館者が楽しみながら太陽系小天体を理解し、小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ 2」の成果に触れることのできる展示物を制作し、科学館の新展示物として公開する。

☆制作期間 令和 6 年度

9 宇宙や科学に関する情報発信事業

(1) 企画パネル展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催する。

テーマ	展 示 期 間
第7回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	令和6年4月1日(月)～5月26日(日)
天の川をめぐる	令和6年6月1日(土)～8月25日(日)
「水の惑星-星の旅シリーズ」作品展	令和6年8月31日(土)～10月27日(日)
望遠鏡と宇宙	令和6年11月2日(土)～令和7年1月26日(日)
星の進化をたどる	令和7年2月1日(土)～3月31日(月)

展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

(2) SNS 等による情報発信（#おうちでスペパ）

Facebook や LINE によるイベントや番組の情報発信を行う。また、Instagram や YouTube による実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「#おうちでスペパ」を行う。

(3) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行う。

10 パブリシティ活動事業

メディアの活用

郡山市への投げ込み

郡山市を通じて、各報道機関への投げ込みを行い科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知することにより集客の増加を図る。

テレビ・YouTube 広告

テレビ・YouTube 広告を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知することにより集客の増加を図る。

新聞広告

新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知することにより集客の増加を図る。

広報誌及び雑誌等への掲載、テレビ取材

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載する。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努める。

11 作品募集

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多

く其自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

同時に、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。

<「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展>

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等 3か所程度

12 調査・研究

最新の宇宙や科学に関する情報を収集し、調査研究する。

全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会などが主催する研究発表会等及び公益社団法人日本天文学会などが主催する学術会議に出席し、情報の収集・調査・研究を行う。

また、先進館の事業の運営方法を調査・研究し、郡山市ふれあい科学館の事業の運営方法を改善する。

13 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

一般社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 令和6年5月～令和7年2月 原則毎月1回日曜日（年10回）10時～12時

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を続けている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣
分団活動の発表の場の提供等

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学を中心に県内の公設研究機関や企業と科学館・博物館などが連携し、科学普及を目的とする団体「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に加盟して、サイエンスフェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

☆開催期間 通年

(2) ボランティア活動の推進

<スペースパークボランティアの会会員募集>

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外

から募集し、活動の充実を図る。

— 活動開始までの流れ—

登録前オリエンテーション ⇒ 一般研修 ⇒ 専門研修 ⇒ 活動開始

<スペースパークボランティアの会活動計画>

「案内科学グループ」

(案内)

- ☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、紙芝居の実演
- ☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド
高齢者・身障者の観覧補助
出張活動の実施

(科学)

- ☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、実験展示物使用方法案内及び説明
サイエンスフェスティバルへの参加
- ☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実
出張活動の実施

「天文グループ」

- ☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助
- ☆発展活動内容 観望会などの自主開催

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

「運営部会」

- ☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。
- ☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。
- ☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

V 令和6年度広報・営業活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開する。

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行する。

☆構成：A4カラー2ページ

☆発行総数：375,000部

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図る。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信する。

年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開する。

看板等の設置

ビッグアイ入口などへの看板設置の掲示を行う。

(2) 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布する。

2 営業活動

民間事業者を中心に科学館の施設及び事業内容を紹介するための、営業活動を展開する。

Ⅵ 予算・決算

1 令和5年度決算

収入

科目	金額	説明
基本財産利息収入	0	
指定管理料収入	241,023,520	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	25,261,820	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	75,440	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
販売手数料収入	37,600	カプセル玩具販売手数料
雑収入	8,762,104	郡山市光熱水費補填
雑収入	626,846	雇用保険料個人負担分
合計	275,787,330	

収入合計 ￥275,787,330

支出 事業費（科学館施設管理）

科目	金額	説明
給料手当	79,594,364	1 職員費 123,831,327
福利厚生費	19,130,837	
臨時雇賃金	25,106,126	2 各種業務委託 58,109,115
旅費交通費	236,920	
通信運搬費	1,483,736	3 光熱水費 28,610,325
消耗什器備品費	0	
消耗品費	1,012,716	4 施設管理費 30,574,511
修繕費	1,909,520	
印刷製本費	910,716	
賃借料	5,424,584	
諸謝金	0	
手数料	59,069	
租税公課	17,057,289	
負担金支出	88,000	
委託費	58,109,115	
広告宣伝費	1,155,000	
燃料費	67,876	
光熱水料費	28,610,325	
損害保険料	292,382	
食糧費	2,941	
減価償却費	873,762	
合計	241,125,278	

事業費（科学館事業）

科目	金額	説明
旅費交通費	168,350	1 宇宙劇場運営
通信運搬費	0	2 展示ゾーン運営
消耗品費	3,393,556	3 展望ロビー利活用事業
印刷製本費	4,604,600	4 教育普及活動
賃借料	8,313,211	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
諸謝金	307,500	6 その他
手数料	838	
租税公課	3,800	
負担金支出	0	
委託費	11,006,545	
広告宣伝費	198,000	
損害保険料	44,100	
食糧費	217,582	
合計	28,258,082	

支出合計 ￥269,383,360

収支差額 ￥6,403,970

参考

使用料名	金額	説明
ふれあい科学館観覧料	24,013,220	宇宙劇場 51,612 人 常設展示 57,159 人 ワンパスト 123 人
ふれあい科学館使用料	1,248,600	ビュースコープ利用回数 5,220 回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数 3,633 回
合計	25,261,820	

2 令和 6 年度予算

収入

科目	金額	説明
基本財産利息収入	0	
指定管理料収入	267,901,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	29,000,000	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	175,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	1,000	
雑収入	706,000	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	48,340,000	
合計	346,123,000	

収入合計 ￥346,123,000

支出

事業費（科学館施設管理）

科目	金額	説明
給料手当	84,219,000	1 職員費 141,159,000
福利厚生費	22,265,000	
臨時雇賃金	34,675,000	2 各種業務委託 76,359,000
旅費交通費	470,000	
通信運搬費	2,283,000	3 光熱水費 37,363,000
消耗什器備品費	0	
消耗品費	2,891,000	4 施設管理費 35,985,000
修繕費	1,710,000	
印刷製本費	2,695,000	
賃借料	7,011,000	
諸謝金	0	
手数料	346,000	
租税公課	16,750,000	
負担金支出	211,000	
委託費	76,359,000	
広告宣伝費	1,144,000	
燃料費	131,000	
光熱水料費	37,363,000	
損害保険料	317,000	
食糧費	26,000	
減価償却費	0	
合計	290,866,000	

事業費（科学館事業）

科目	金額	説明
臨時雇賃金	0	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	235,000	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	182,000	3 展望ロビー利活用事業
消耗品費	5,139,000	4 展示ゾーン利活用事業
印刷製本費	4,311,000	5 展望ロビーイベント装飾事業
賃借料	13,904,000	6 教育普及活動
諸謝金	294,000	7 講演会事業
手数料	313,000	8 他団体連携事業
租税公課	41,000	9 宇宙や科学に関する情報発信事業
負担金支出	0	10 パブリシティ活動事業
委託費	30,033,000	11 その他
広告宣伝費	270,000	
損害保険料	212,000	
食糧費	323,000	
合計	55,257,000	

支出合計 ￥346,123,000

Ⅶ 施設利用状況

1 月別入館者数

令和5年4月～令和6年3月

(単位：人)

月	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
令和5年4月	10,613	3,168	2,789	5,957
5月	13,226	3,992	4,400	8,392
6月	10,687	4,667	3,832	8,499
7月	17,702	7,905	7,663	15,568
8月	25,850	10,232	10,953	21,185
9月	12,624	4,696	4,541	9,237
10月	11,971	3,863	3,605	7,468
11月	10,845	2,862	2,804	5,666
12月	16,913	4,439	5,600	10,039
令和6年1月	10,952	1,467	3,858	5,325
2月	9,752	0	2,623	2,623
3月	15,293	4,321	4,491	8,812
合計	166,428	51,612	57,159	108,771

〈参考〉

(単位：人)

年 度	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成13年度	361,887	67,640	68,698	136,338
平成14年度	347,141	89,952	86,734	176,686
平成15年度	305,314	79,136	78,487	157,623
平成16年度	278,734	67,620	68,413	136,033
平成17年度	257,694	69,388	63,546	132,934
平成18年度	251,195	66,122	69,059	135,181
平成19年度	267,202	71,209	75,619	146,828
平成20年度	251,876	71,607	73,131	144,738
平成21年度	246,237	74,607	72,371	146,978
平成22年度	241,634	72,704	73,194	145,898
平成23年度	235,383	56,689	89,070	145,759
平成24年度	230,669	74,525	67,179	141,704
平成25年度	212,469	65,424	59,366	124,790
平成26年度	203,763	64,244	55,076	119,320
平成27年度	216,594	67,287	63,361	130,648
平成28年度	240,887	77,040	85,184	162,224
平成29年度	238,440	76,355	80,533	156,888
平成30年度	212,021	64,823	69,918	134,741
令和元年度	194,968	56,328	68,875	125,203
令和2年度	98,078	29,230	22,327	51,557

令和3年度	117,301	33,111	30,607	63,718
令和4年度	162,517	49,919	49,595	99,514
令和5年度	166,428	51,612	57,159	108,771
合計	5,338,432	1,496,572	1,527,502	3,024,074

2 施設別入館者数

宇宙劇場

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	891	56	86	5	10	2,158	216	33	3	26	3,049	117	119	1
5月	15	568	38	45	3	11	3,379	307	0	0	26	3,947	152	45	0
6月	18	631	35	2,480	138	8	1,535	192	21	3	26	2,166	83	2,501	30
7月	17	1,972	116	1,271	75	11	4,591	417	71	6	28	6,563	234	1,342	6
8月	21	6,072	289	292	14	9	3,868	430	0	0	30	9,940	331	292	1
9月	16	753	47	1,777	111	10	2,131	213	35	4	26	2,884	111	1,812	16
10月	16	667	42	629	39	10	2,546	255	21	2	26	3,213	124	650	5
11月	16	487	30	357	22	10	2,018	202	0	0	26	2,505	96	357	4
12月	16	1,227	77	260	16	11	2,952	268	0	0	27	4,179	155	260	2
1月	1	212	212	53	53	5	1,202	240	0	0	6	1,414	236	53	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	9	1,393	155	99	11	7	2,829	404	0	0	16	4,222	264	99	0
合計	161	14,873	92	7,349	46	102	29,209	286	181	2	263	44,082	168	7,530	29

展示ゾーン

(単位：人)

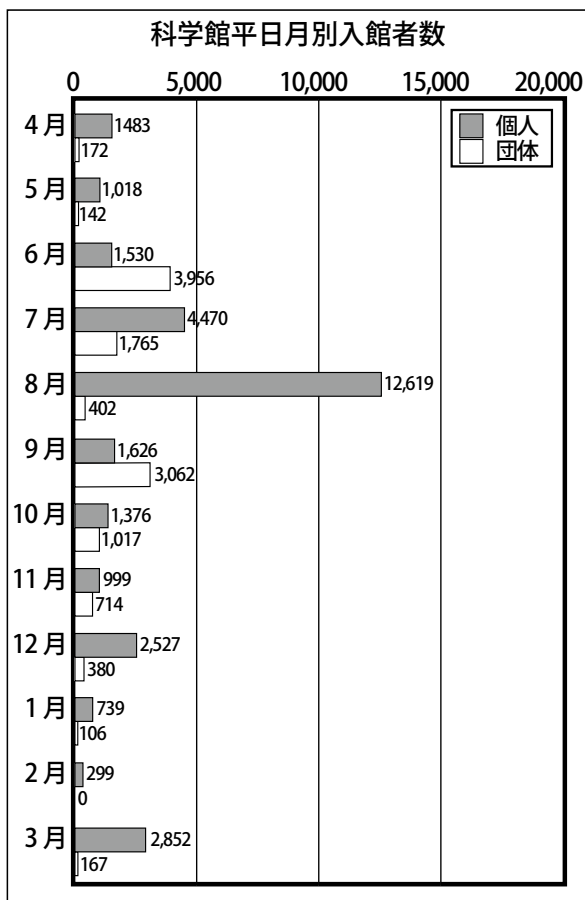
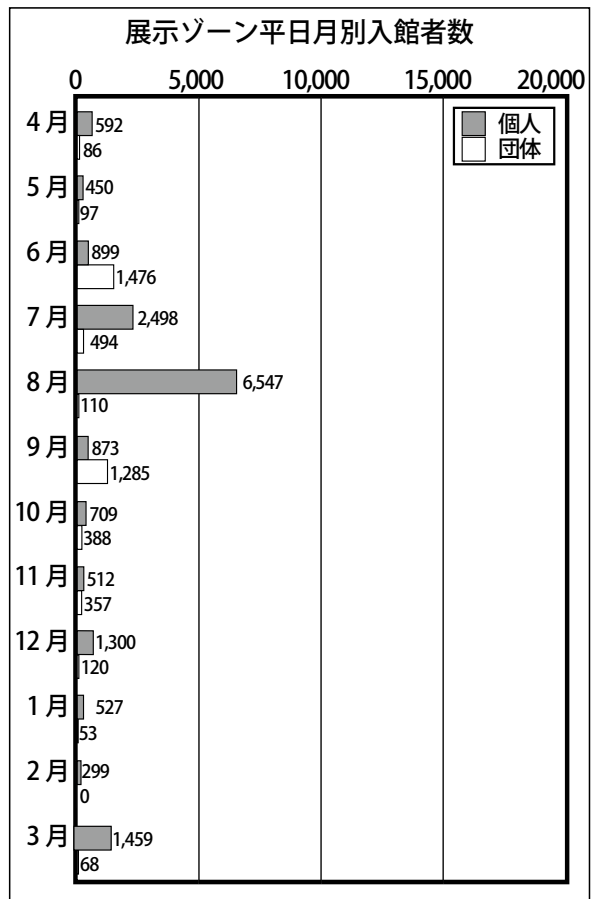
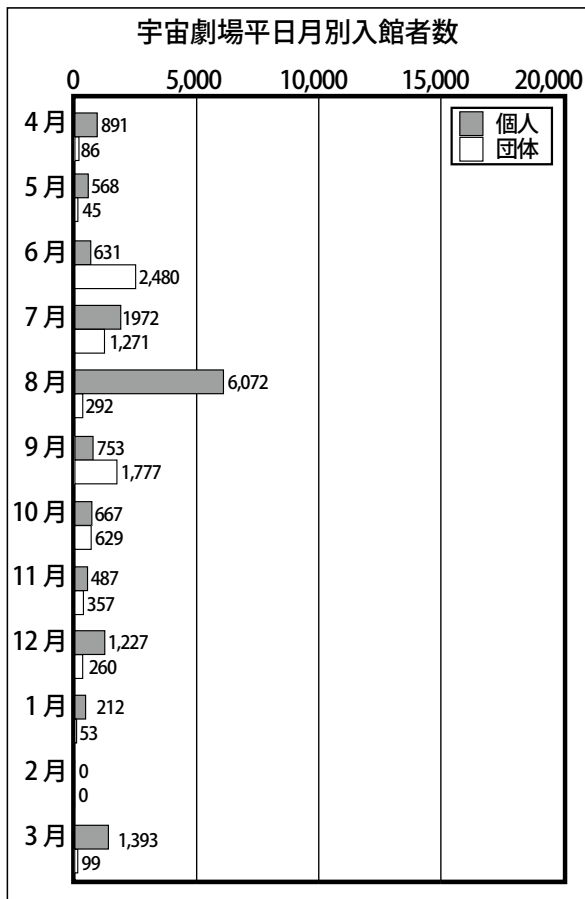
月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	592	37	86	5	10	2,111	211	0	0	26	2,703	104	86	1
5月	15	450	30	97	6	11	3,853	350	0	0	26	4,303	166	97	1
6月	18	899	50	1,476	82	8	1,436	180	21	3	26	2,335	90	1,497	17
7月	17	2,498	147	494	29	11	4,604	419	67	6	28	7,102	254	561	2
8月	21	6,547	312	110	5	9	4,296	477	0	0	30	10,843	361	110	0
9月	16	873	55	1,285	80	10	2,383	238	0	0	26	3,256	125	1,285	10
10月	16	709	44	388	24	10	2,467	247	41	4	26	3,176	122	429	4
11月	16	512	32	357	22	10	1,935	194	0	0	26	2,447	94	357	4
12月	16	1,300	81	120	8	11	4,180	380	0	0	27	5,480	203	120	1
1月	10	527	53	53	5	11	3,278	298	0	0	6	3,805	634	53	0
2月	15	299	20	0	0	10	2,293	229	31	3	25	2,592	104	31	0
3月	18	1,459	81	68	4	11	2,964	269	0	0	16	4,423	276	68	0
合計	194	16,665	86	4,534	23	122	35,800	293	160	1	288	52,465	182	4,694	16

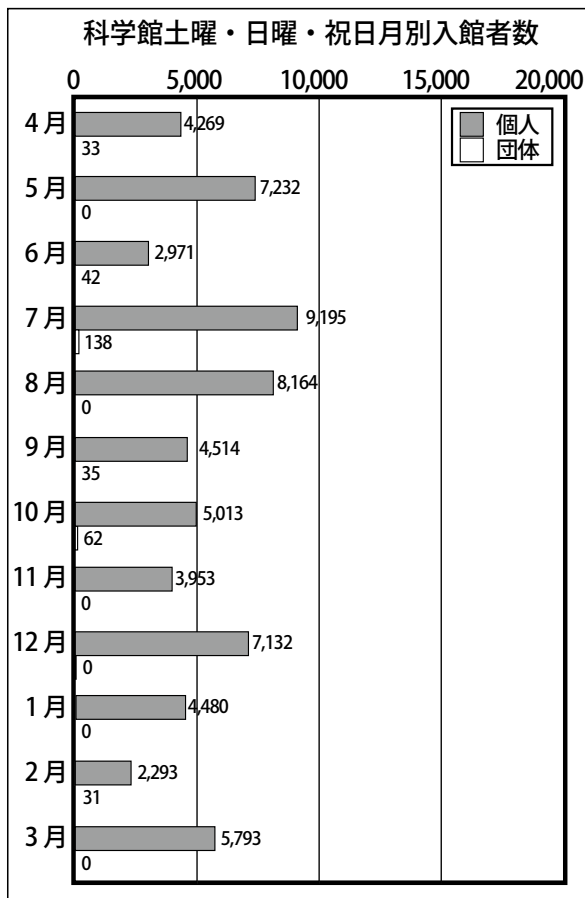
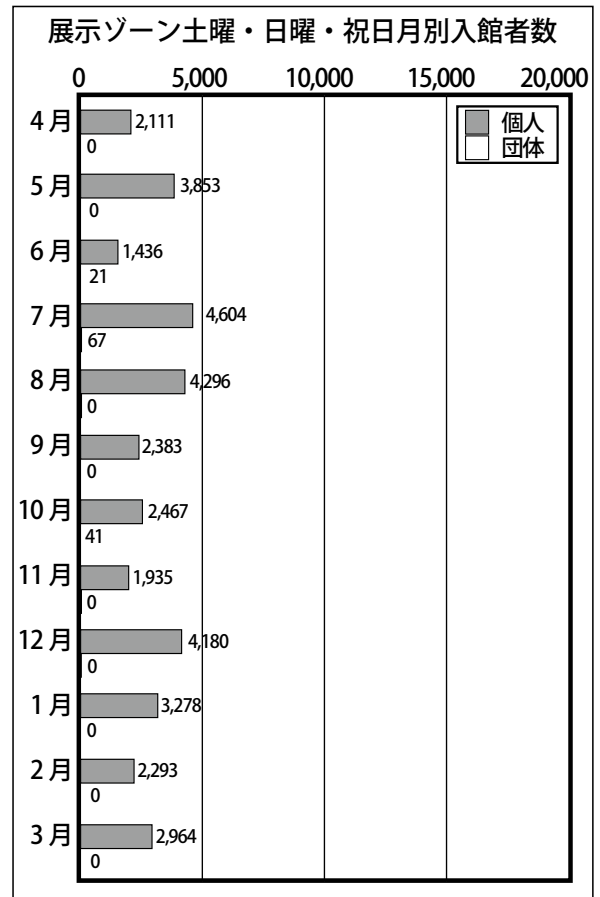
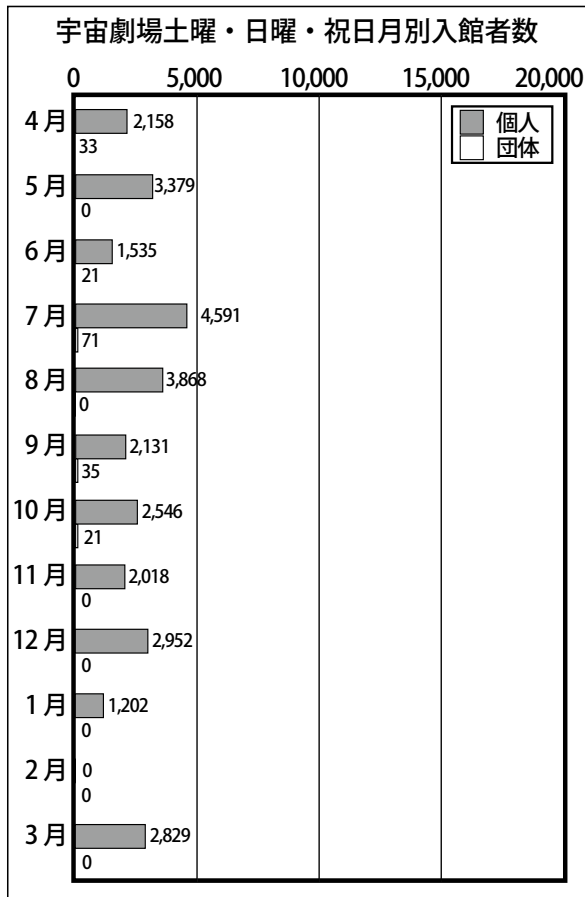
合計

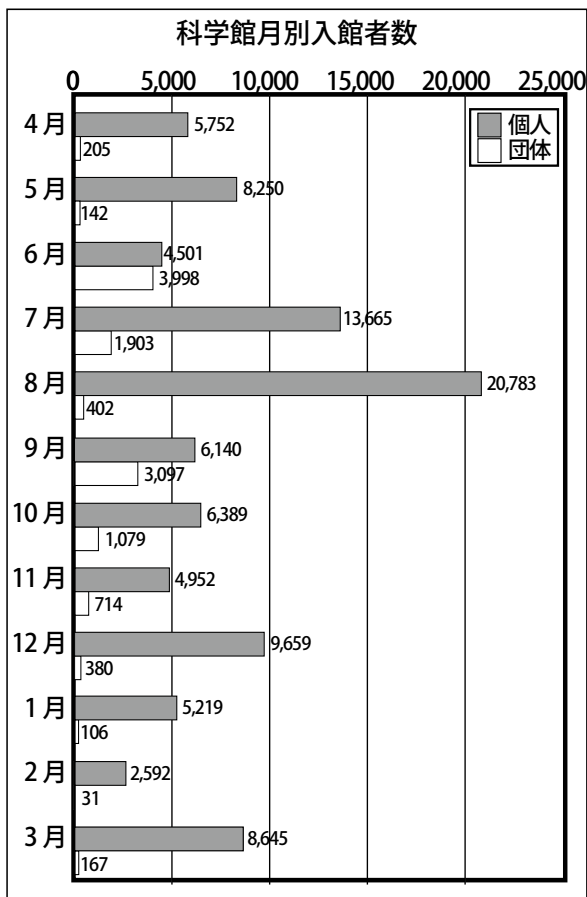
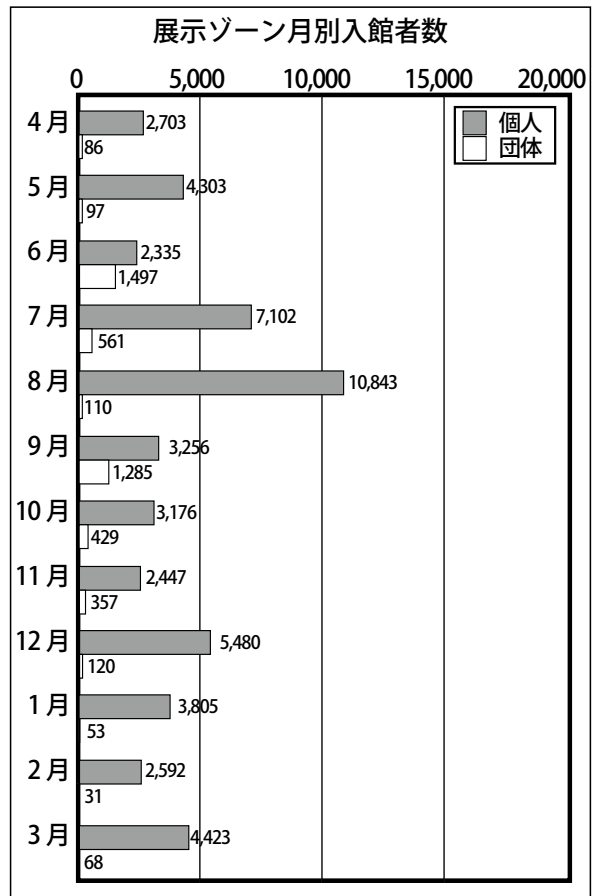
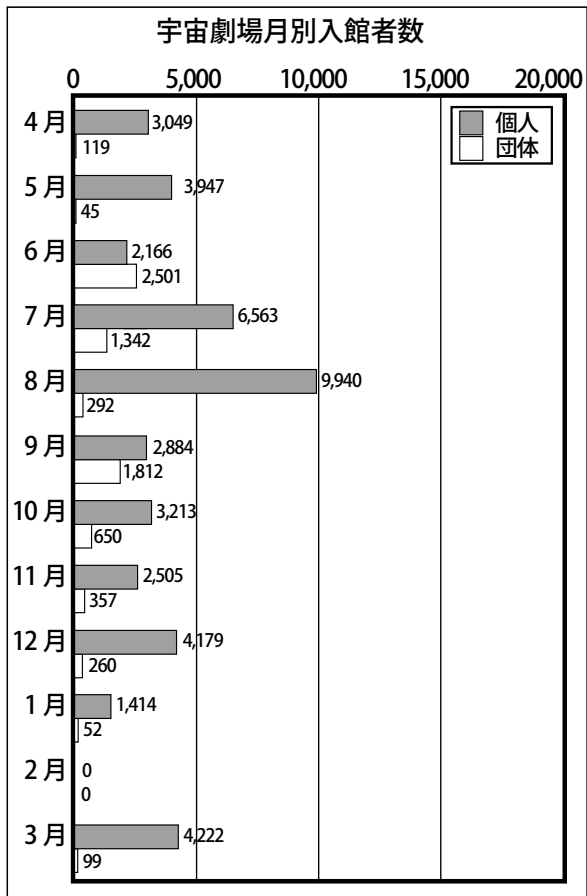
(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	1,483	93	172	11	10	4,269	427	33	3	26	5,752	221	205	8
5月	15	1,018	68	142	9	11	7,232	657	0	0	26	8,250	317	142	5
6月	18	1,530	85	3,956	220	8	2,971	371	42	5	26	4,501	173	3,998	154
7月	17	4,470	263	1,765	104	11	9,195	836	138	13	28	13,665	488	1,903	68
8月	21	12,619	601	402	19	9	8,164	907	0	0	30	20,783	693	402	13
9月	16	1,626	102	3,062	191	10	4,514	451	35	4	26	6,140	236	3,097	119
10月	16	1,376	86	1,017	64	10	5,013	501	62	6	26	6,389	246	1,079	42
11月	16	999	62	714	45	10	3,953	395	0	0	26	4,952	190	714	27
12月	16	2,527	158	380	24	11	7,132	648	0	0	27	9,659	358	380	14

1月	1	739	739	106	106	5	4,480	896	0	0	6	5,219	870	106	18
2月	15	299	20	0	0	10	2,293	229	31	3	25	2,592	104	31	1
3月	9	2,852	317	167	19	7	5,793	828	0	0	16	8,645	540	167	10
合計	176	31,538	179	11,883	68	112	65,009	580	341	3	288	96,547	335	12,224	42







3 宇宙劇場区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人						計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	
4月	274	634	158	1,448	200	335	3,049
5月	333	879	164	2,069	171	331	3,947
6月	205	378	101	1,048	155	279	2,166
7月	676	1,636	254	3,032	336	629	6,563
8月	1,040	2,649	549	4,269	500	933	9,940
9月	210	528	267	1,335	165	379	2,884
10月	246	548	151	1,636	165	467	3,213
11月	259	410	149	1,234	184	269	2,505
12月	437	819	267	1,676	231	749	4,179
1月	190	312	57	649	67	139	1,414
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	340	954	277	1,535	263	853	4,222
合 計	4,210	9,747	2,394	19,931	2,437	5,363	44,082

(単位：人)

月	団 体						合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	計	
4月	0	84	33	2	0	119	3,168
5月	0	0	0	8	37	45	3,992
6月	640	1,634	5	121	101	2,501	4,667
7月	681	498	36	126	1	1,342	7,905
8月	1	244	0	42	5	292	10,232
9月	378	1,247	0	105	82	1,812	4,696
10月	276	344	2	28	0	650	3,863
11月	0	344	0	13	0	357	2,862
12月	60	161	0	16	23	260	4,439
1月	0	51	0	2	0	53	1,467
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	25	66	0	8	0	99	4,321
合 計	2,061	4,673	76	471	249	7,530	51,612

(単位：団体)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	1	1	0	0	1	3
5月	0	0	0	0	0	1	1
6月	16	27	0	0	0	3	46
7月	20	8	1	0	0	6	35
8月	0	1	0	0	0	5	6
9月	7	26	0	0	0	4	37
10月	7	6	0	0	0	1	14
11月	0	5	0	0	0	0	5
12月	2	2	0	0	1	1	6
1月	0	0	0	0	0	1	1
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	1	1	0	0	0	1	3
合 計	53	77	2	0	1	24	157

4 展示ゾーン区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人				計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	
4月	745	99	1,197	662	2,703
5月	1,118	161	2,089	935	4,303
6月	449	56	862	968	2,335
7月	1,880	173	2,994	2,055	7,102
8月	3,233	419	4,616	2,575	10,843
9月	721	212	1,335	988	3,256
10月	702	74	1,309	1,091	3,176
11月	550	117	1,130	650	2,447
12月	1,417	161	2,266	1,636	5,480
1月	946	100	1,736	1,023	3,805
2月	538	128	1,244	682	2,592
3月	1,217	250	1,710	1,246	4,423
合 計	13,516	1,950	22,488	14,511	52,465

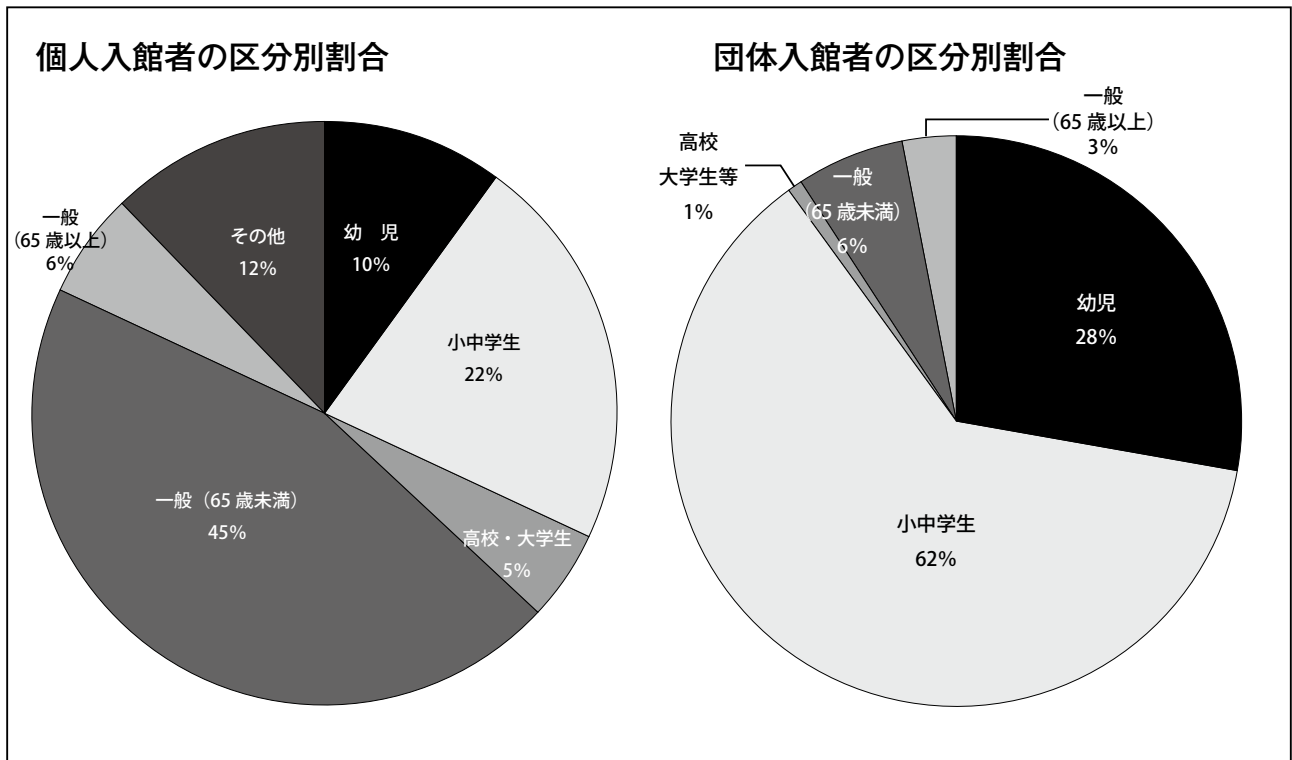
(単位：人)

月	団 体			計	合 計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)		
4月	84	0	2	86	2,789
5月	91	0	6	97	4,400
6月	1,449	0	48	1,497	3,832
7月	429	36	96	561	7,663
8月	69	0	41	110	10,953
9月	1,232	0	53	1,285	4,541
10月	372	2	55	429	3,605
11月	344	0	13	357	2,804
12月	116	0	4	120	5,600
1月	51	0	2	53	3,858
2月	28	0	3	31	2,623
3月	66	0	2	68	4,491
合 計	4,331	38	325	4,694	57,159

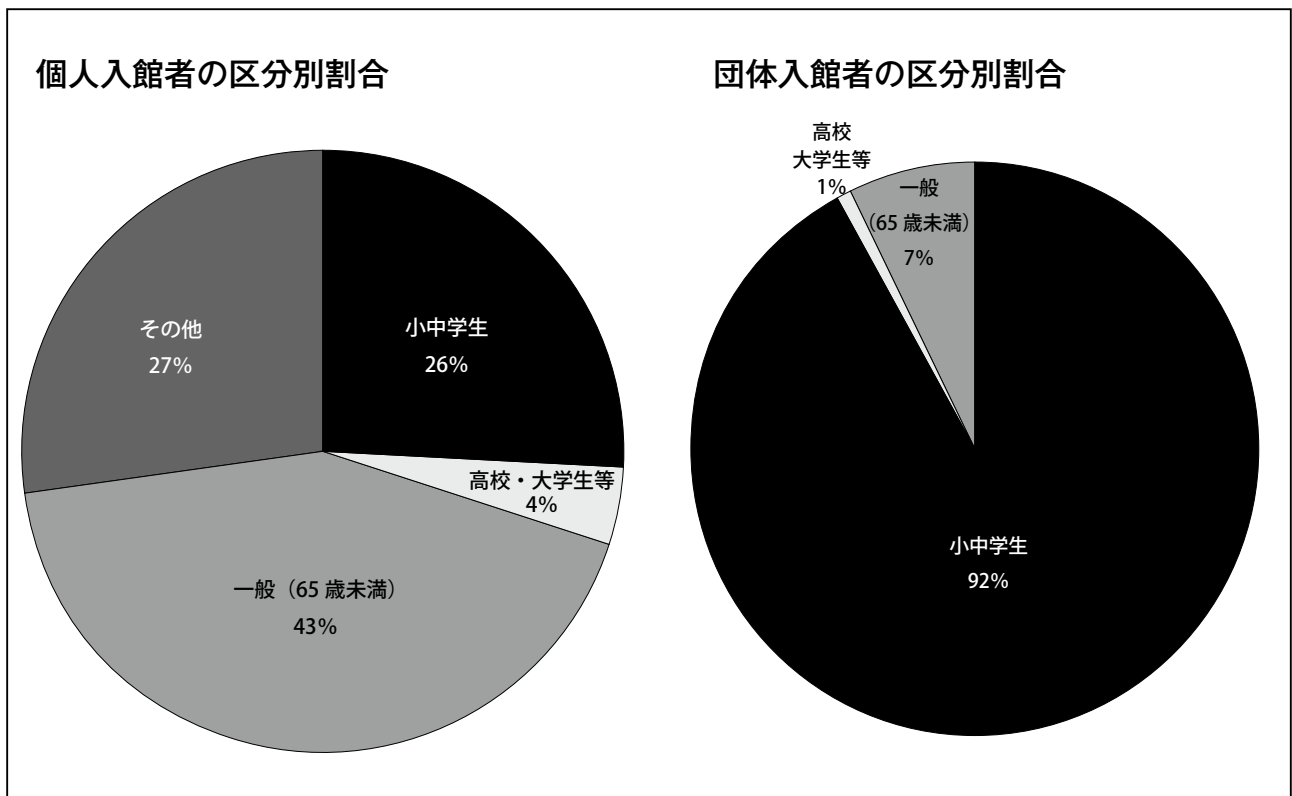
(単位：団体)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	0	1	0	0	1	2
5月	0	1	0	0	0	1
6月	0	25	0	0	1	26
7月	0	7	1	1	6	15
8月	0	1	0	0	3	4
9月	0	28	0	0	0	28
10月	1	6	0	0	2	9
11月	0	5	0	0	0	5
12月	0	1	0	0	1	2
1月	0	0	0	0	1	1
2月	0	0	0	0	1	1
3月	0	1	0	0	1	2
合 計	1	76	1	1	17	96

宇宙劇場入館者の区分別割合



展示ゾーン入館者の区分別割合



5 平成30年度から令和4年度までの入館者数の変遷

平成30年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成30年4月	12,909	2,917	3,160	6,077
5月	15,064	3,553	4,613	8,166
6月	14,764	5,179	5,170	10,349
7月	20,953	8,558	6,965	15,523
8月	30,503	10,680	10,991	21,671
9月	17,307	6,330	5,197	11,527
10月	15,410	3,991	4,852	8,843
11月	13,275	3,828	2,867	6,695
12月	25,818	5,713	11,573	17,286
平成31年1月	16,020	3,604	6,745	10,349
2月	12,435	4,805	2,822	7,627
3月	17,563	5,665	4,963	10,628
合計	212,021	64,823	69,918	134,741

令和元年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成31年4月	15,298	3,846	4,542	8,388
令和元年5月	14,962	3,738	4,548	8,286
6月	13,290	5,189	4,774	9,963
7月	25,712	8,316	11,233	19,549
8月	38,322	11,404	16,084	27,488
9月	16,831	5,421	5,293	10,714
10月	11,024	3,003	2,820	5,823
11月	11,959	2,703	2,545	5,248
12月	22,076	6,180	8,190	14,370
令和2年1月	14,907	4,448	5,207	9,655
2月	10,587	2,080	2,769	4,849
3月	0	0	870	870
合計	194,968	56,328	68,875	125,203

令和2年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
令和2年4月	0	0	78	78
5月	1,833	259	156	415
6月	5,790	1,569	1,047	2,616
7月	9,397	3,320	2,136	5,456
8月	14,116	6,374	4,187	10,561
9月	11,804	4,566	3,794	8,360
10月	10,124	2,586	2,614	5,200
11月	11,401	3,027	2,271	5,298
12月	11,031	2,609	2,004	4,613
令和3年1月	6,422	1,496	1,191	2,687
2月	6,488	1,623	1,186	2,809
3月	9,672	1,801	1,663	3,464
合計	98,078	29,230	22,327	51,557

令和3年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
令和3年4月	7,774	1,257	1,211	2,468
5月	9,507	1,610	2,099	3,709
6月	10,072	3,598	2,465	6,063
7月	14,330	4,746	4,128	8,874
8月	12,236	3,960	3,711	7,671
9月	1,649	285	292	577
10月	12,822	3,798	3,942	7,740
11月	14,030	4,290	3,581	7,871
12月	17,835	4,962	4,877	9,839
令和4年1月	8,800	2,623	2,516	5,139
2月	0	0	0	0
3月	8,246	1,982	1,785	3,767
合計	117,301	33,111	30,607	63,718

令和4年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
令和4年4月	9,191	2,092	2,077	4,169
5月	11,923	3,171	3,257	6,428
6月	13,750	5,623	4,284	9,907
7月	17,563	6,240	6,473	12,713
8月	21,547	6,930	8,349	15,279
9月	13,619	4,616	4,145	8,761
10月	13,291	3,037	3,919	6,956
11月	9,848	2,719	2,253	4,972
12月	16,408	5,254	4,686	9,940
令和5年1月	11,590	3,863	3,736	7,599
2月	9,642	2,552	2,281	4,833
3月	14,145	3,822	4,135	7,957
合計	162,517	49,919	49,595	99,514

6 令和5年度施設利用状況の結果分析

(1) 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数

○令和5年度：108,771人（前年度：99,514人）

○前年度比：約9.3%増（9,257人増）

☆展望ロビー入館者数

○令和5年度：166,428人（前年度：162,517人）

○前年度比：約2.4%増（3,911人増）

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：9,064人（前年度：8,292人）

○展望ロビー：13,869人（前年度：13,543人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約65.3%

（前年度比：約4.1%増 ※前年度：約61.2%）

☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5.5%	7.7%	7.8%	14.3%	19.5%	8.5%	6.9%	5.2%	9.2%	4.9%	2.4%	8.1%

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
142.8%	130.5%	85.7%	122.4%	138.6%	105.4%	107.3%	113.9%	101%	70%	54.2%	110.7%

(2) 施設別（宇宙劇場／展示ゾーン）入館者

☆宇宙劇場入館者数（前年度：49,919人）

○令和5年度：51,612人 ○前年度比：約3.3%増

☆展示ゾーン入館者数（前年度：49,595人）

○令和5年度：57,159人 ○前年度比：約15.2%増

(3) 来館形態別（個人／団体）入館者

☆個人利用者数（前年度：86,928人）

○令和5年度：96,547人 ○前年度比：約11%増

☆団体利用者数（前年度：12,586人）

○令和5年度：12,224人 ○前年度比：約3%減

☆来館形態比

○個人：約88.8%（前年度：約87.4%） ○団体：約11.2%（前年度：約12.6%）

☆利用傾向（平日／土・日・祝）

○平日：約40%（前年度：約39.4%） ○土・日・祝：約60%（前年度：約60.6%）

(4) 区分別（幼児／小・中学生／高校・大学生／一般）入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数（割合 ※総数：51,612人）

○幼児：6,271人（約12.2%） 内訳＝個人：4,210人 団体：2,061人

○小・中学生：14,420人（約28%） 内訳＝個人：9,747人 団体：4,673人

○高校・大学生：2,470人（約4.9%） 内訳＝個人：2,394人 団体：76人

○一般（65歳未満）：20,402人（約39.5%） 内訳＝個人：19,931人 団体：471人

○一般（65歳以上）：2,686人（約5%） 内訳＝個人：2,437人 団体：249人

○その他（障がい者など）：5,363人（約10.4%）

☆展示ゾーン区分別入館者数（割合 ※総数：57,159人）

○小・中学生：17,847人（約31.3%） 内訳＝個人：13,516人 団体：4,331人

○高校・大学生：1,988人（約3.4%） 内訳＝個人：1,950人 団体：38人

○一般（65歳未満）：22,813人（約39.9%） 内訳＝個人：22,488人 団体：325人

○その他（幼児、障がい者など）：14,511人（約25.4%）

有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般（65歳未満）」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「一般（65歳未満）」が最も多く約39.7%、次いで「小・中学生」約29.7%と、昨年度と同様に「一般（65歳未満）」が多い結果となりました。

(5) 総括

施設利用状況は、前年度に比べ入館者合計が108,771人で約9.3%増、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が24,013,220円で約9.2%増、展望ロビーにおける施設利用料金が1,248,600円と前年度と比べ約18.7%増となりました。

入館者数、宇宙劇場・展示ゾーン及び展望ロビーの施設利用料金収入が増加した要因は、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが季節性インフルエンザと同等（5類感染症）に引き下げられ、コロナ禍前の日常に戻りつつあること、それに加え個人利用での入館者が86,928人から9,619人と多かったことが大きな要因と考えられます。

館者数及び施設利用料金も、コロナ禍前の令和元年度の入館者数125,203人、施設利用料金24,998,640円と比較すると入館者数は約86.8%程度の回復傾向、施設利用料金は約1%程度増の結果となりました。

ポストコロナの時代を迎えて、従来の延長ではない生活様式や価値観の変化の中で、市民の皆様のニーズを捉えるべく情報収集を行いながら、事業の実施、内容の充実を図り、市民の皆様に安全・安心して楽しんでいただける館運営に努めていきたいと考えております。

Ⅷ その他

1 条例・規則

(1) 条例

○郡山市ふれあい科学館条例

平成 13 年 3 月 23 日
郡山市条例第 33 号

(設置)

第 1 条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。)第 244 条第 1 項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目 11 番 1 号

第 3 条 削除

(事業)

第 4 条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第 5 条 科学館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 45 分(入館は、午後 5 時)までとする。ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第 6 条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、市長が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日にあたる時は、その翌日とする。)
- (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日までの日

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

(観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

(観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

(観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他市長が特別の理由があると認めたとき。

(利用の制限)

第10条 市長(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

(入館者の賠償責任)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(管理の代行)

第12条 市長は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

(指定管理者の募集の公告等)

第13条 市長は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、

あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

(指定管理者の申請)

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書（以下「事業計画書」という。）等を添付して市長に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）、民事再生法（平成11年法律第225号）等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

(指定管理者の選定)

第15条 市長は、前条第1項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他市長が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 市長は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

(指定管理者の指定)

第16条 市長は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 市長は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

(協定の締結)

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、

規則で定める事項について市長と協定を締結しなければならない。

(事業報告書の提出)

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日(同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して60日)以内にしなければならない。

(利用料金)

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。
- 3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得てそれぞれ定める。
- 4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めるときは、第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めるときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めるときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

(指定等の公告)

第20条 市長は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

- (1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。
- (2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。
- (3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。
- (4) 前3号の規定により公告した事項に変更があつたとき。

(開館時間等の変更)

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

(事業計画書等の内容の変更等)

第22条 指定管理者は、第14条第1項の規定により提出した事業計画書その他規則で

定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

- 2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、市長にその旨を届け出なければならない。

(秘密保持義務)

第 23 条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(指定管理者の原状回復義務)

第 24 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、市長に引き渡さなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(指定管理者の賠償責任)

第 25 条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長が相当の理由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第 26 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成 13 年 6 月 1 日教委規則第 11 号で平成 13 年 10 月 1 日から施行)

(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)

- 2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成 11 年郡山市条例第 24 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(平成 15 年郡山市条例第 26 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年郡山市条例第 68 号)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第 10 条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年郡山市条例第 62 号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(郡山市ふれあい科学館条例の一部改正に伴う経過措置)

6 施行日前に改正前の郡山市ふれあい科学館条例の規定によりなされた手続、処分その他の行為は、第5条の規定による改正後の郡山市ふれあい科学館条例の相当規定によりなされた手続、処分その他の行為とみなす。

附 則(平成29年郡山市条例第47号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

*別表以下省略

(2) 規則

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成 27 年 3 月 30 日
郡山市規則第 26 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例（平成 13 年郡山市条例第 33 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第 2 条 市長（条例第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にあっては、指定管理者）は、条例第 7 条第 1 項の規定により観覧料（指定管理者の指定の期間中にあっては、条例第 19 条第 1 項に規定する利用料金）を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券（第 1 号様式）を交付する。

(観覧料の免除)

第 3 条 条例第 8 条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 8 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料の全額
- (2) 条例第 8 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書（第 2 号様式）を市長に提出しなければならない。

(観覧料等の返還)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 9 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料等の全額
- (2) 条例第 9 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書（第 3 号様式）を、市長に提出しなければならない。

(遵守事項)

第 5 条 郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

(募集時の公告事項等)

第 6 条 条例第 13 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要
- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の期

- (4) 利用料金に関する事項
- (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
- (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (7) 次条第1項に規定する申請書等に関する事項
- (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
- (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
- (10) その他市長が必要と認める事項

2 条例第13条の規定による公告は、郡山市公告式条例（昭和40年郡山市条例第2号）第2条第2項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

(申請書等)

第7条 条例第14条第1項の規定による申請は、指定申請書（第4号様式）に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあつては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあつては、役員の名及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他市長が必要と認める書類

2 条例第14条第2項第4号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。

ア 破産者で復権を得ないもの

イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前30日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第13条の規定による公告又は指名の日（以下「公告等の日」という。）において、当該取消しの日から起算して2年を経過しないもの

ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において2年を経過しないもの

エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員

- (2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める団体（市長にあつては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資し、又は出えんしている法人を除く。）でないこと。
- (3) 市長が必要と認める資格を有する者を配置できるこ

(選定通知)

第8条 条例第15条第2項の規定による通知は、選定結果通知書（第5号様式）によるものとする。

(指定通知)

第9条 条例第16条第1項の規定により指定をするときは、指定通知書（第6号様式）により申請した団体に通知するものとする。

(協定締結事項)

第10条 条例第17条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

(事業計画書等の変更)

第11条 条例第22条第1項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更
- (3) その他市長が軽微であると認める事項

(委任)

第12条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の日前に郡山市スポーツ推進委員設置規則等を廃止する規則（平成27年郡山市教育委員会規則第1号）による廃止前の郡山市ふれあい科学館条例施行規則（平成13年郡山市教育委員会規則第12号。以下「廃止前の規則」という。）の規定により交付された定期観覧券は、この規則の規定により交付された定期観覧券とみなす。
- 3 この規則の施行の際現に廃止前の規則の様式の規定に基づき作成されている用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成30年郡山市規則第26号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年郡山市規則第48号）

この規則は、公布の日から施行する。

2 利用案内

<普通観覧料>

区 分	常設展示	宇宙劇場
一 般	400 円	400 円
高校生・大学生等	300 円	300 円
小中学生	200 円	200 円
幼児・65 歳以上	無料	100 円

※宇宙劇場の幼児…座席を使用しない場合は無料
※団体割引…20 名以上の団体は 20% OFF

<定期観覧料（ワンイヤーパスポート）>

区 分	常設展示・宇宙劇場共用 (同一人が 1 年間観覧する場合)
一 般	4,000 円
高校生・大学生等	3,000 円
小中学生	2,000 円

<宇宙劇場番組開始時間>

投映回数	平 日	土・日・祝日
1 回目	10:15	11:00
2 回目	11:30	12:30
3 回目	14:00	14:00
4 回目	15:30	15:30
5 回目		17:00
6 回目	19:00 ※金曜日のみ(祝日を除く)	

※番組開始時刻は変更になる場合があります。

<開館時間>

常設展示…10:00～17:45（入場は 17:00 まで）

宇宙劇場…10:00～17:45（入場は 17:00 まで）

※金曜日は 10:00～19:45（入場は 19:00 まで）

<休館日>

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28～1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

<展望ロビー>

10:00～20:00

3 スペースパークボランティアの会会則

スペースパークボランティアの会会則

(名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称 S.P.V という）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

(目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

(活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
 - (2) 本会及び科学館主催事業の支援
 - (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
 - (4) その他必要な活動
- 2 活動は科学館と協議の上、実施する。
- 3 活動項目は、随時拡充していくものとする。
- 4 活動内容により、次の活動グループを置く。

- (1) 案内・科学グループ
- (2) 天文グループ

(会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

- 2 会員に会長名で登録証を発行する。
- 3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

(研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 運営委員 若干名

- 2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。
- 3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。
- 4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。
- 5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

(職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。
- 3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

- (1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。
- (2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。
- (3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。

2 本会に次の部会を置く。

- (1) 総務部会
- (2) 企画部会
- (3) 広報部会

(登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

- (1) 退会届の提出をした場合
- (2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合
- (3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合
- (4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合
- (5) 政治活動や宗教活動を行った場合
- (6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合
- (7) 営利を目的とした行為を行った場合
- (8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

(年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

(改廃)

第12条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

この会則は、平成 16 年 2 月 15 日から施行する。

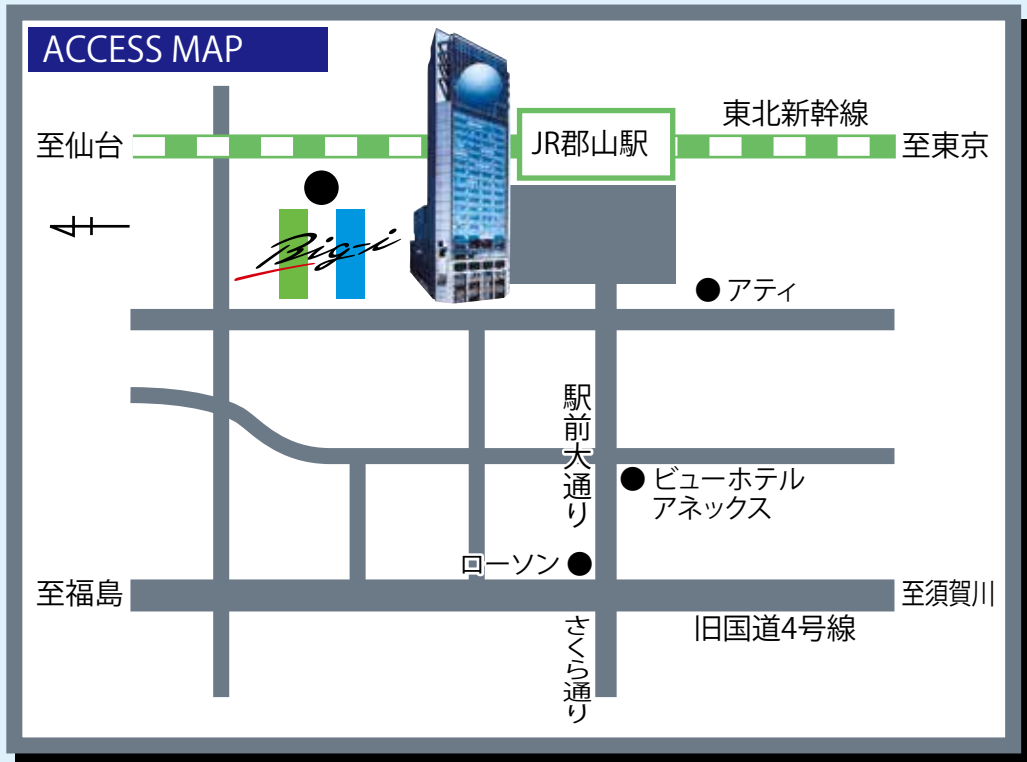
この会則は、平成 17 年 3 月 13 日から施行する。

この会則は、平成 18 年 3 月 5 日から施行する。

この会則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

この会則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

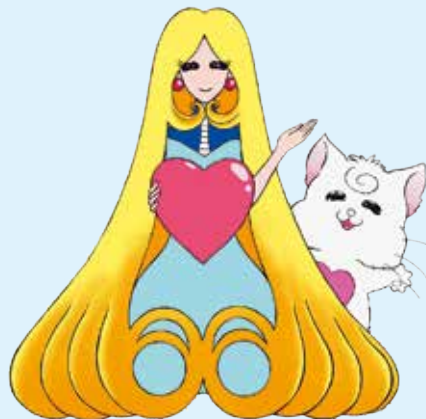
〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20～24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

メールアドレス info@space-park.jp

ウェブサイト <https://space-park.jp>

Facebook · Instagram · YouTube · LINE配信中!



エンゼルナ & ミーニャン

©松本零士/郡山市